

平成31年度 内子町男女共同参画に関するアンケート調査回答結果

(令和元年12月実施)

○アンケート実施期間 令和元年12月5日～令和元年12月27日

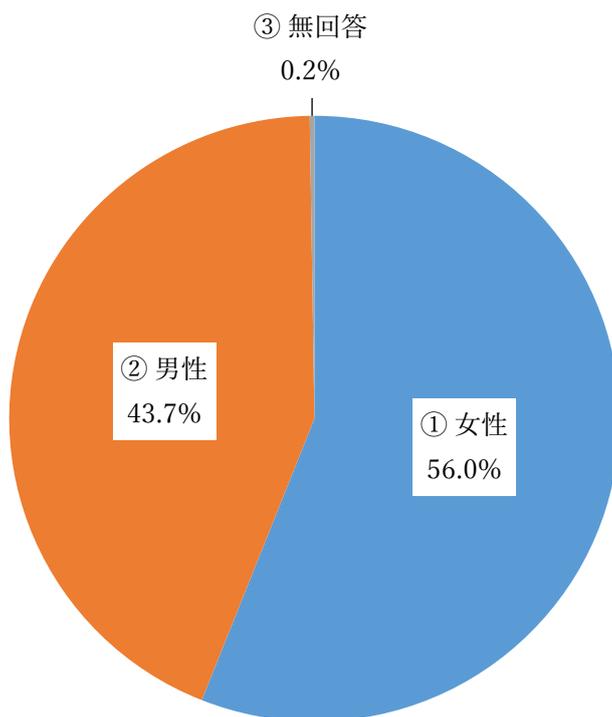
○アンケート送付人数 1,099人
女性 549人
男性 550人

○アンケート回答人数 406人
女性 228人
男性 178人

○全体回答率 36.9%
女性回答率 41.5%
男性回答率 32.4%

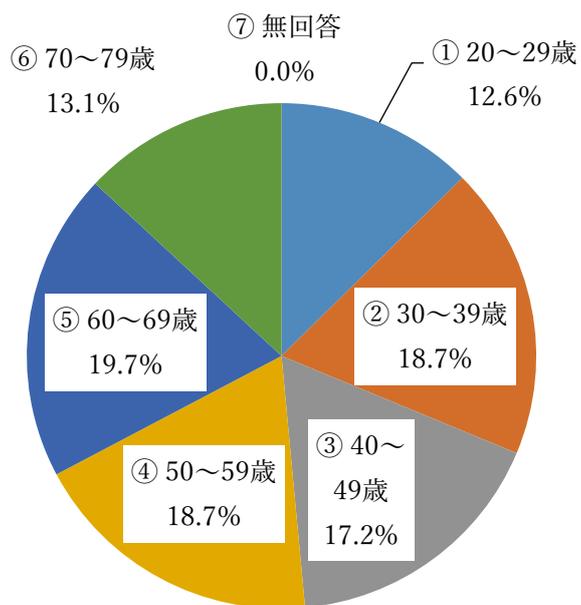
問1 あなたの性別をお答えください。

問1 性別



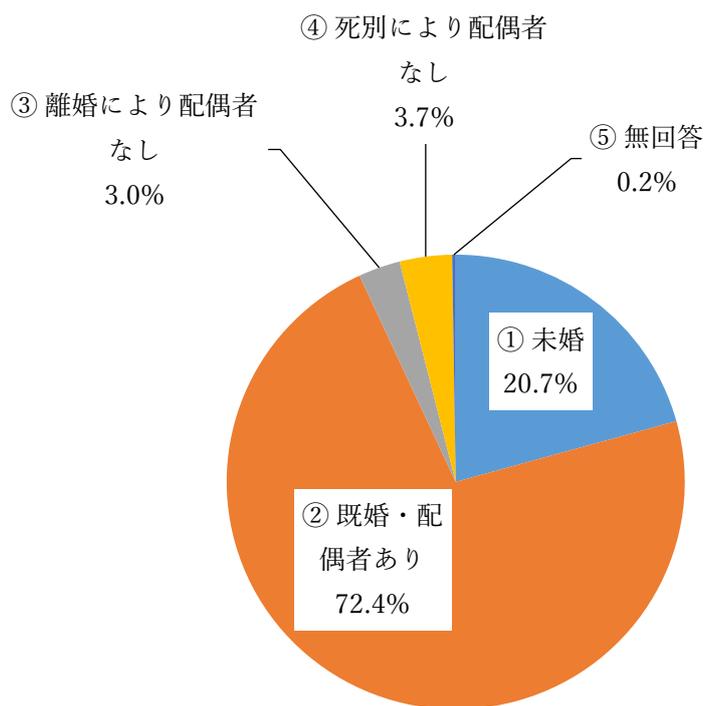
問2 あなたの年齢をお答えください。

問2 年齢



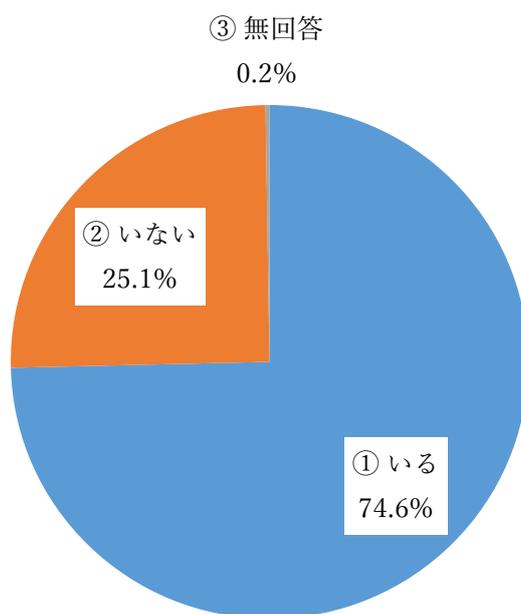
問3 あなたは結婚されていますか。

問3 結婚

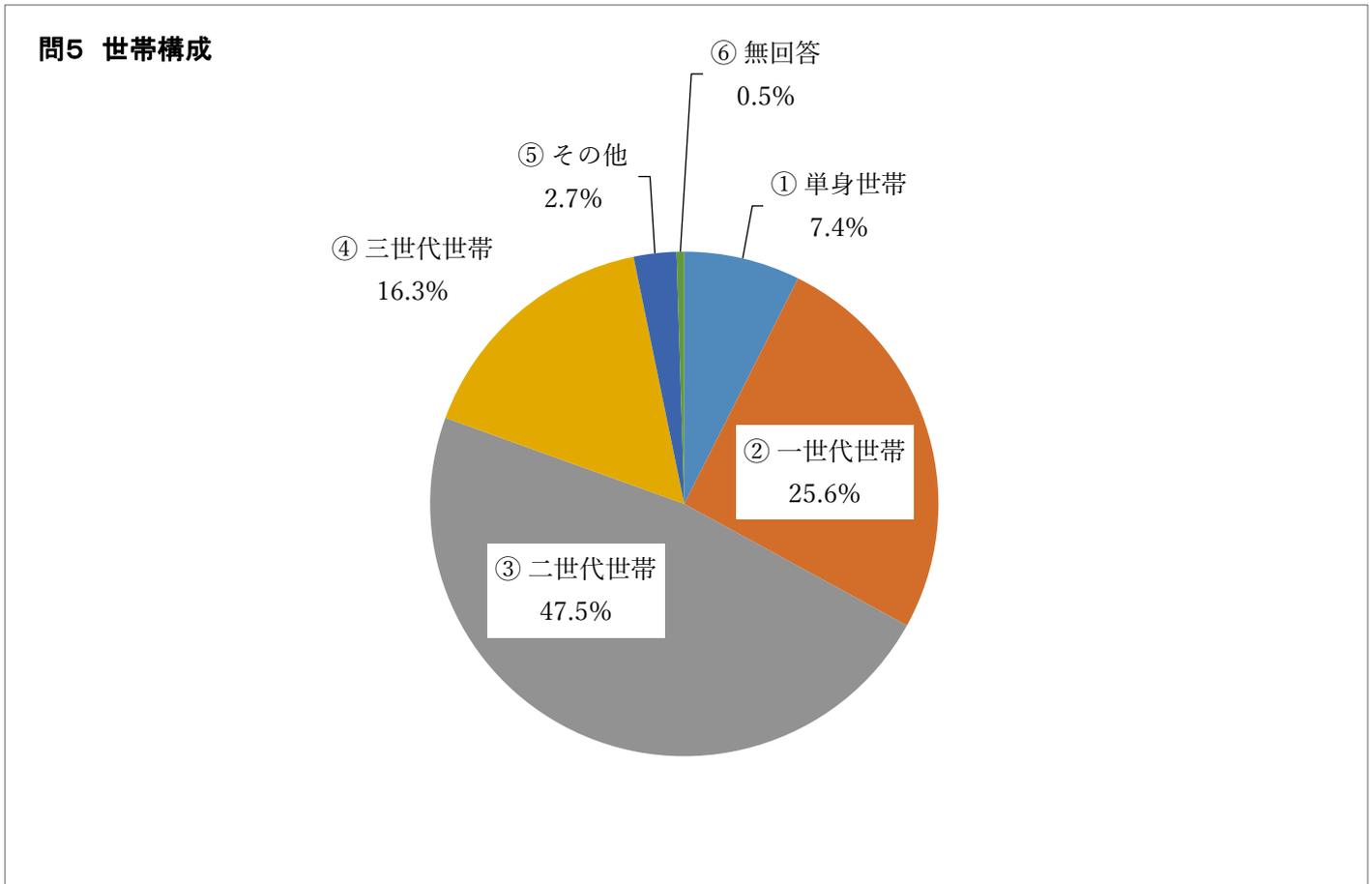


問4 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。

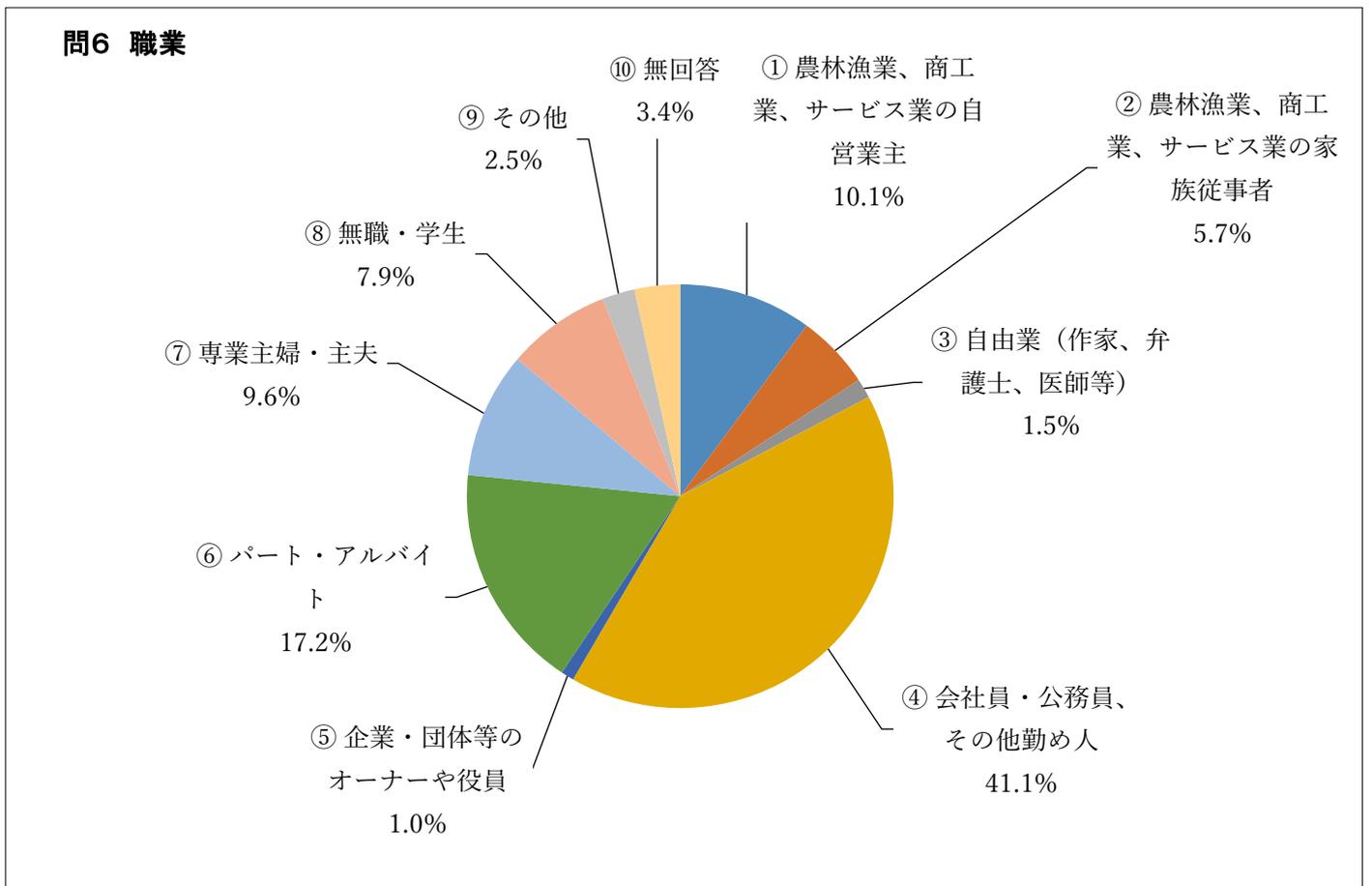
問4 子供は



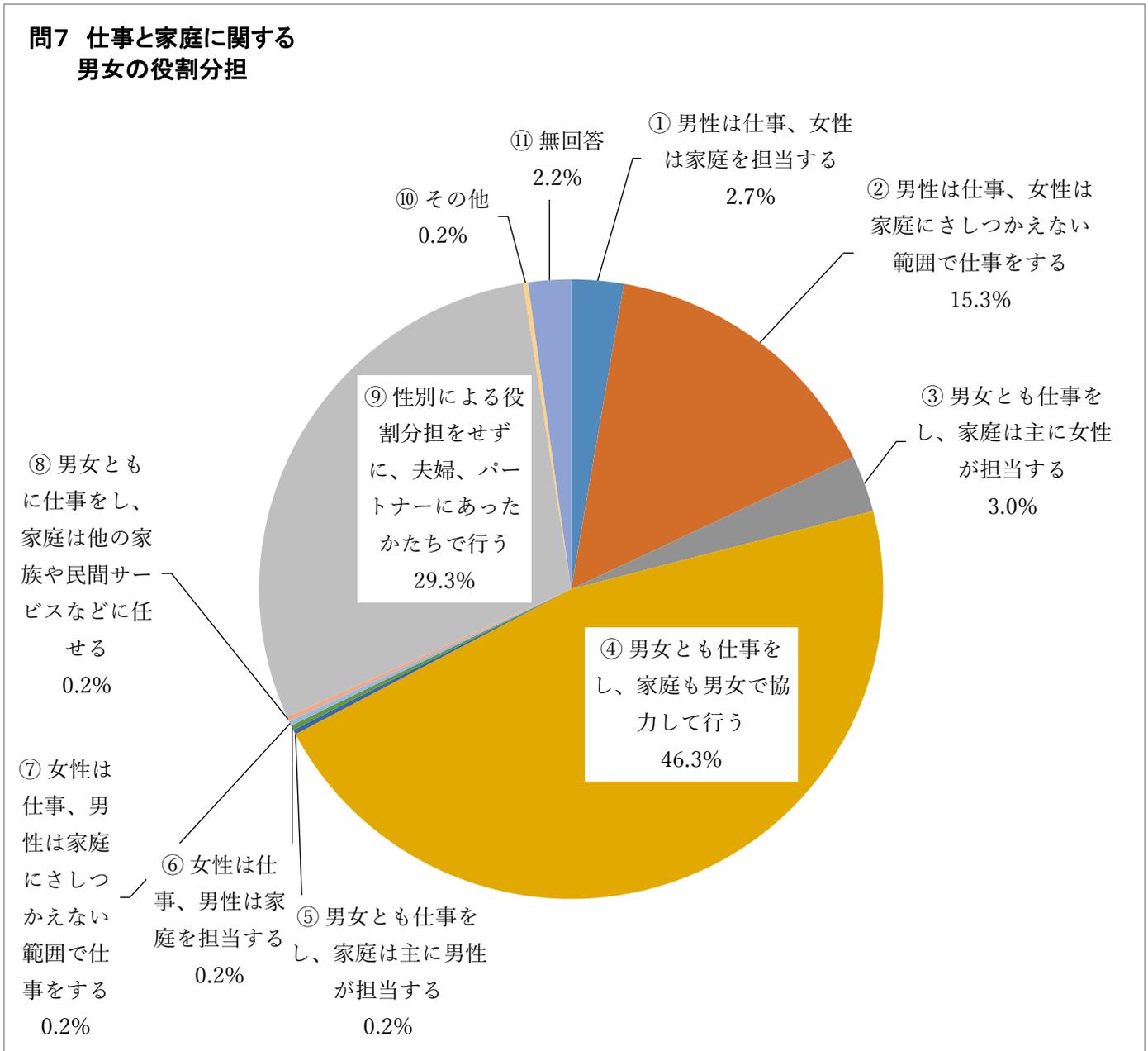
問5 あなたの世帯の構成をお答えください。



問6 あなたの職業をお答えください。

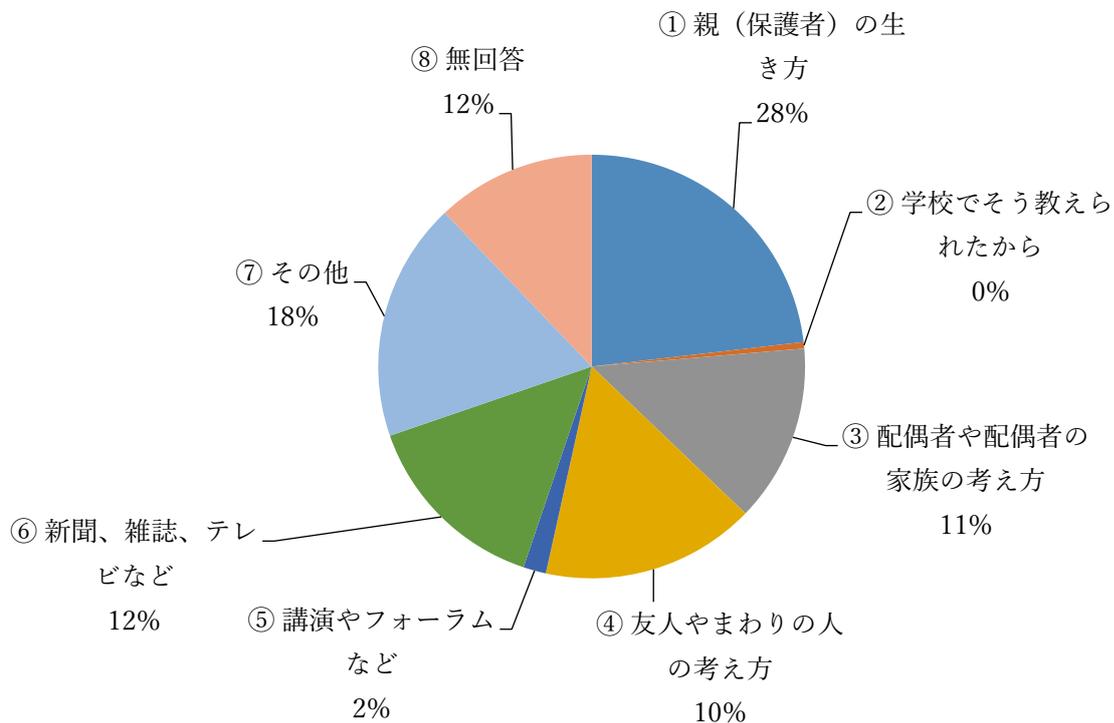


問7 あなたは、仕事と家庭に関する男女（夫婦・パートナー）の役割分担について、本来どのようにあるべきだと思いますか。



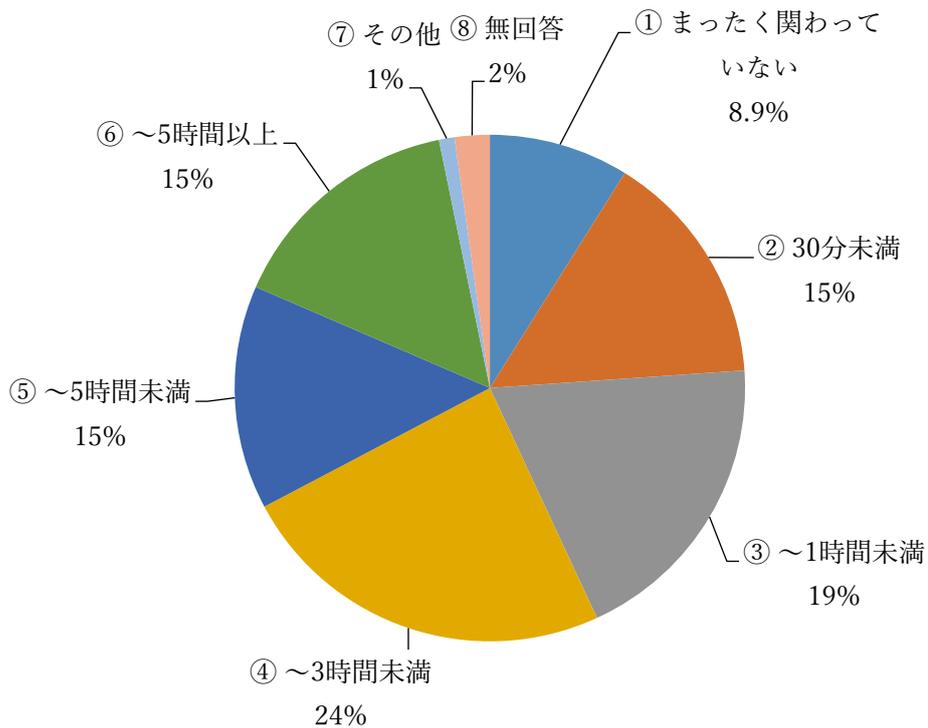
問8 仕事と家庭における男女（夫婦・パートナー）の役割分担について、あなたが、問7のように考えるのはなぜですか。

問8 役割分担の理由



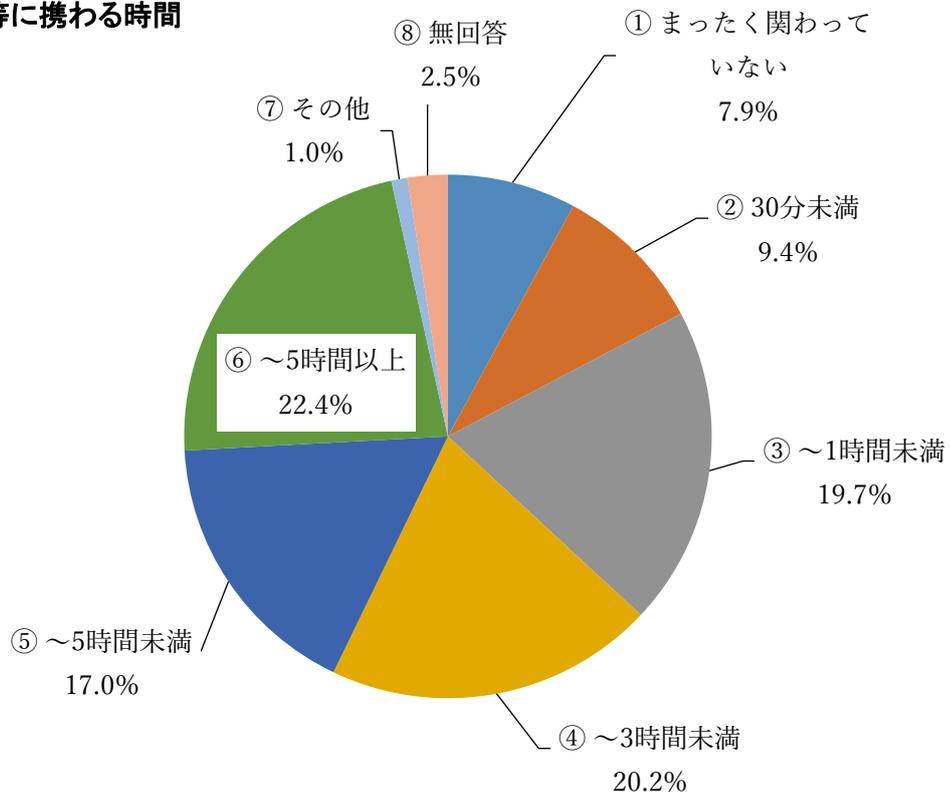
問9 あなたが、平日に家事、育児、介護に携わる合計時間は1日あたり何時間ですか。

問9 平日に家事等に携わる時間



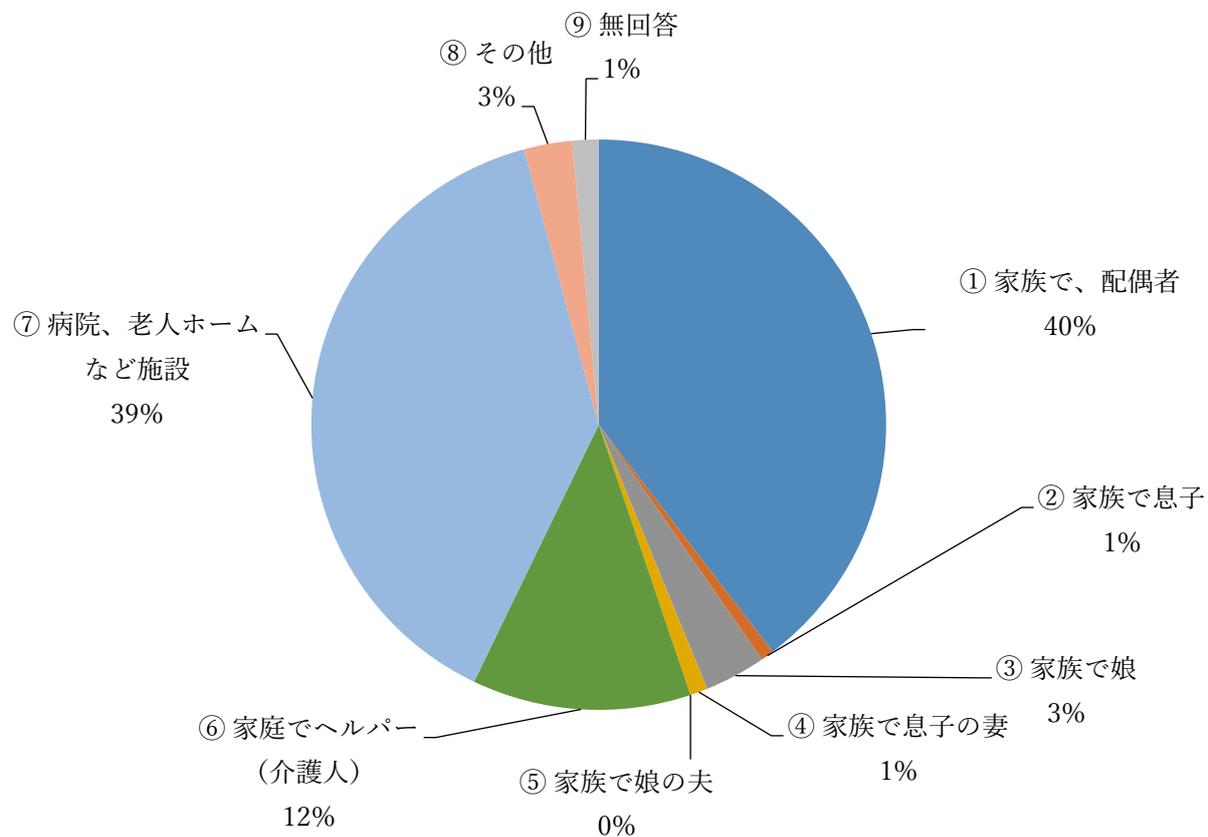
問10 あなたが、休日に家事、育児、介護に携わる合計時間は1日あたり何時間ですか。

問10 休日に家事等に携わる時間



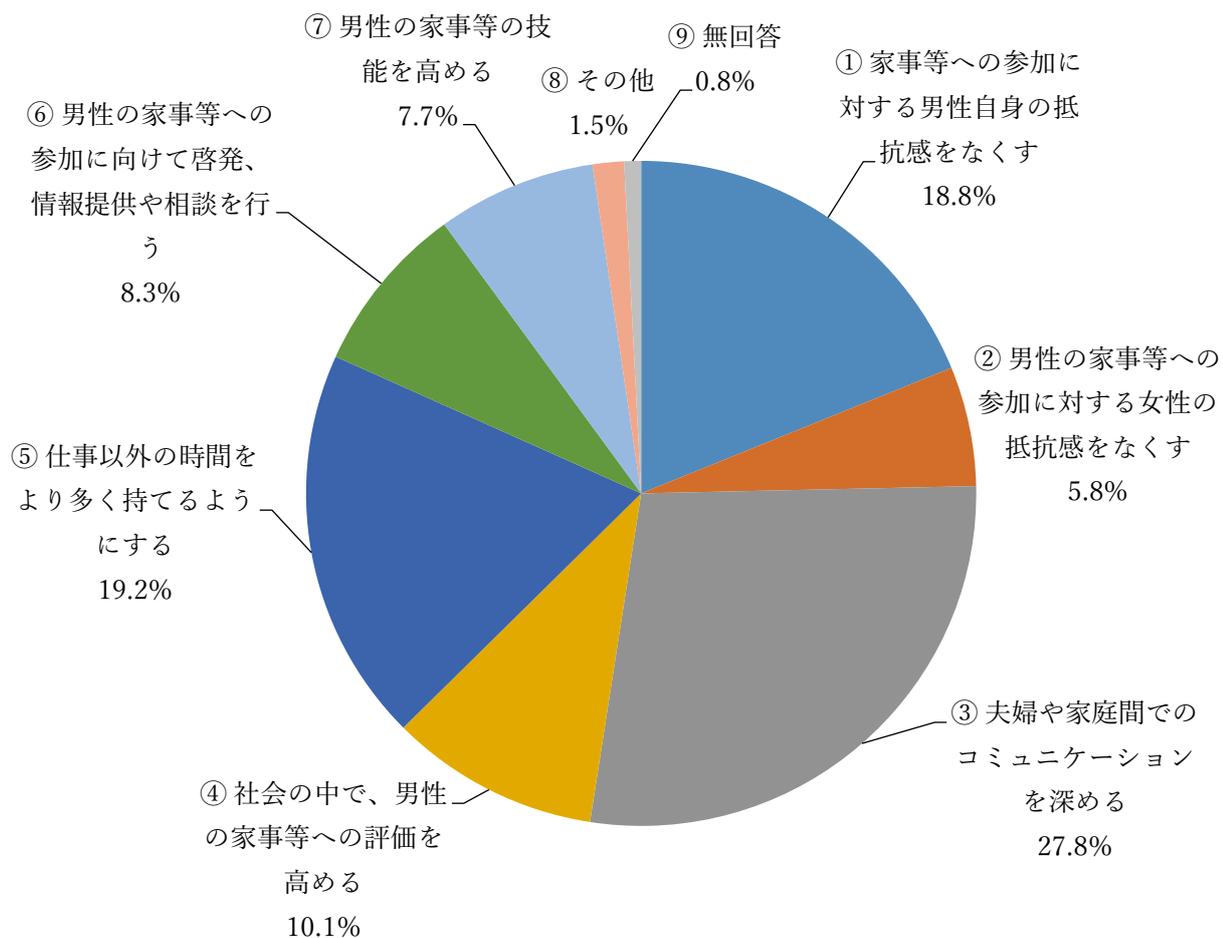
問 11 あなたが、もし介護が必要な状態になった場合、主にだれに（どこで）お世話をしてもらいたいと思いますか。

問11 介護が必要になった場合、誰にお世話をしてもらいたいのか



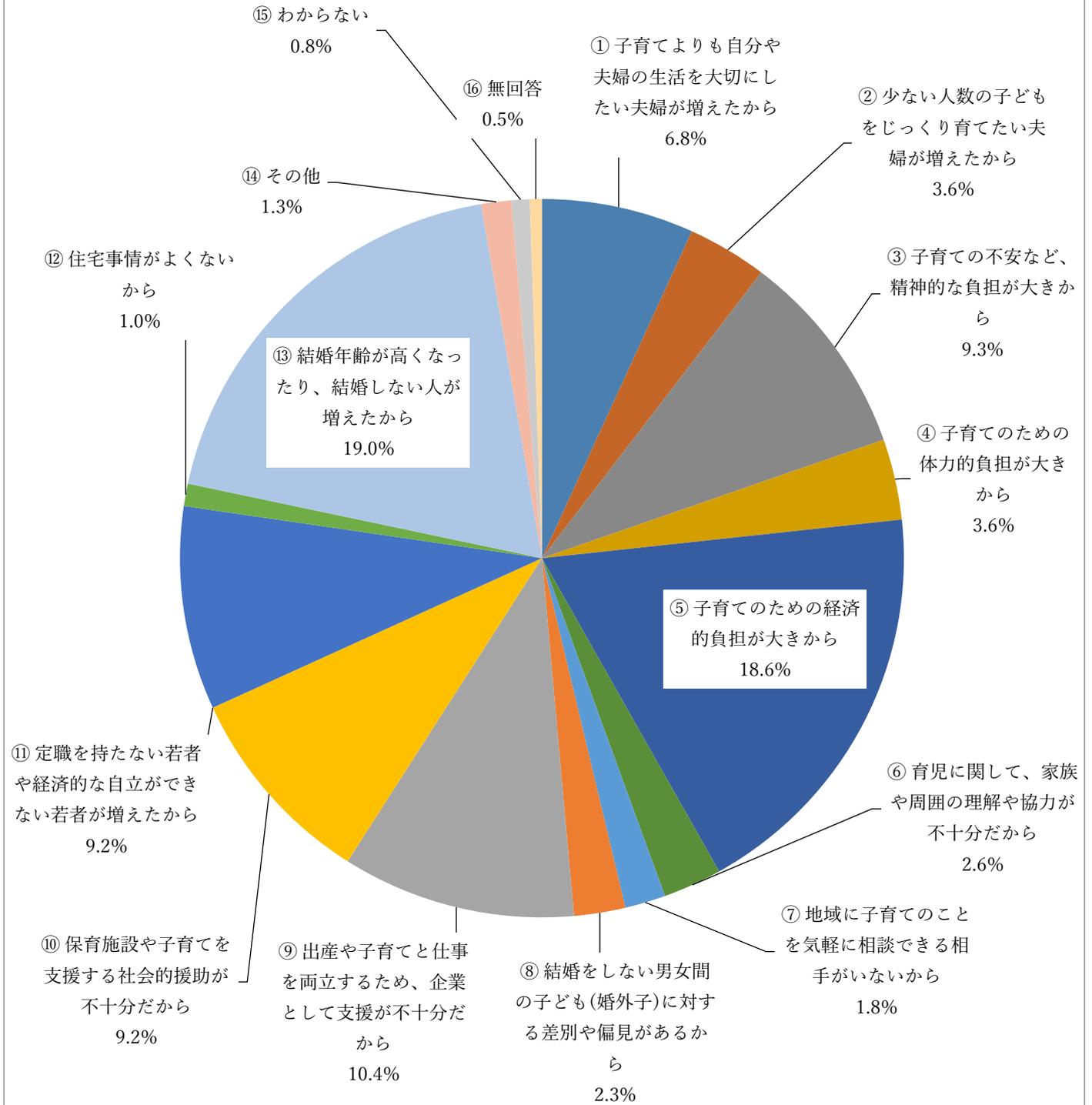
問 12 あなたは、今後、男女ともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○をおつけください。）

問12 男女ともに家事・地域活動等積極的に参加していくためには



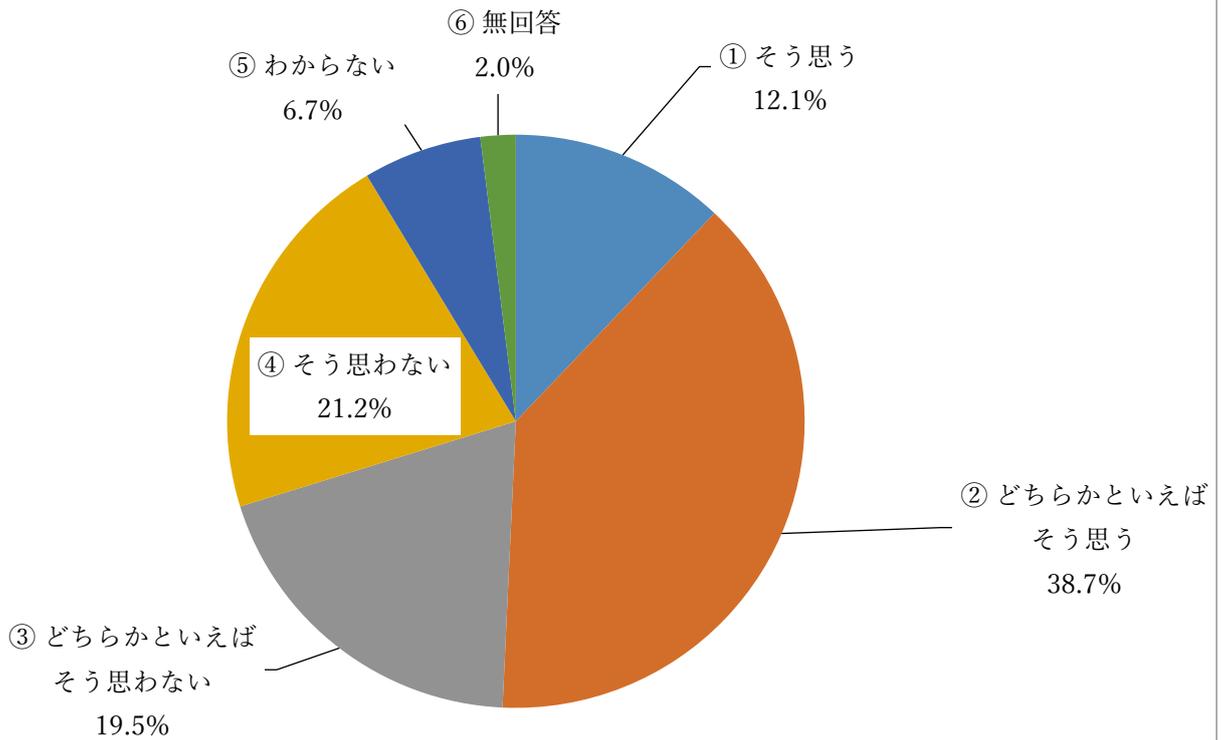
問13 最近、生まれてくる子どもの数が減っています。あなたは、それはなぜだと思いますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問13 生まれてくる子供が減少している理由



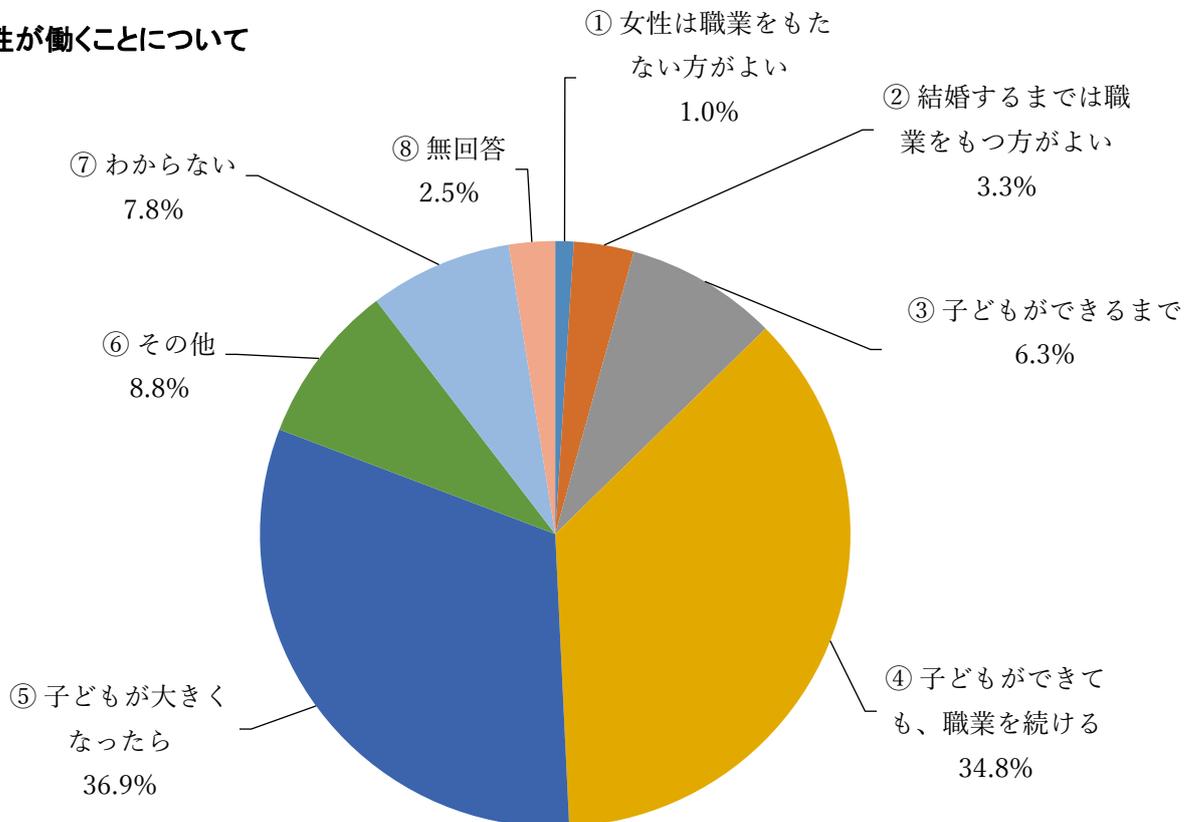
問 14 あなたは、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という子どもの育て方、しつけについてどう思いますか。

問14 子供の育て方、しつけ方について

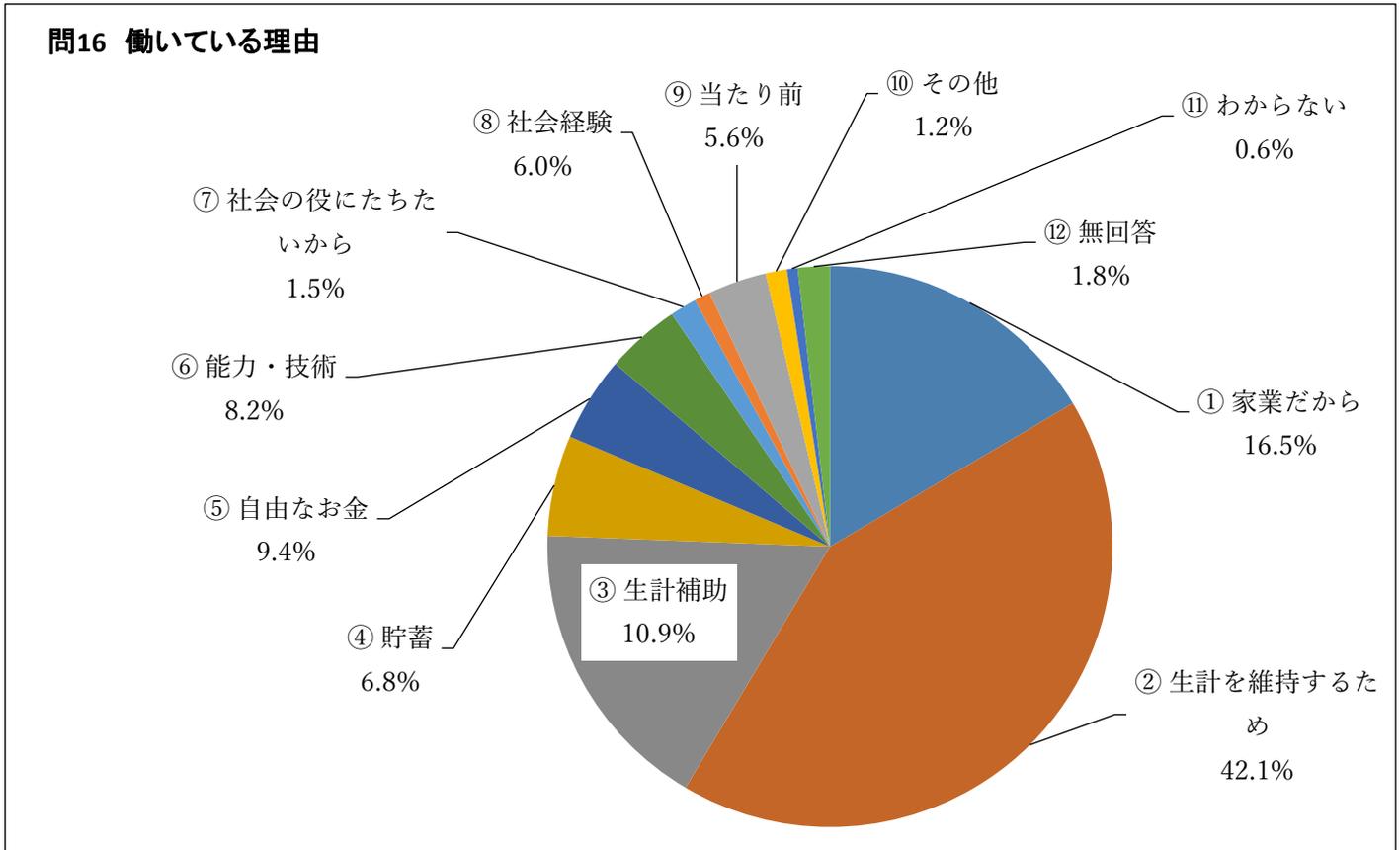


問 15 一般的に女性が働くことについて、あなたはどうお考えですか。

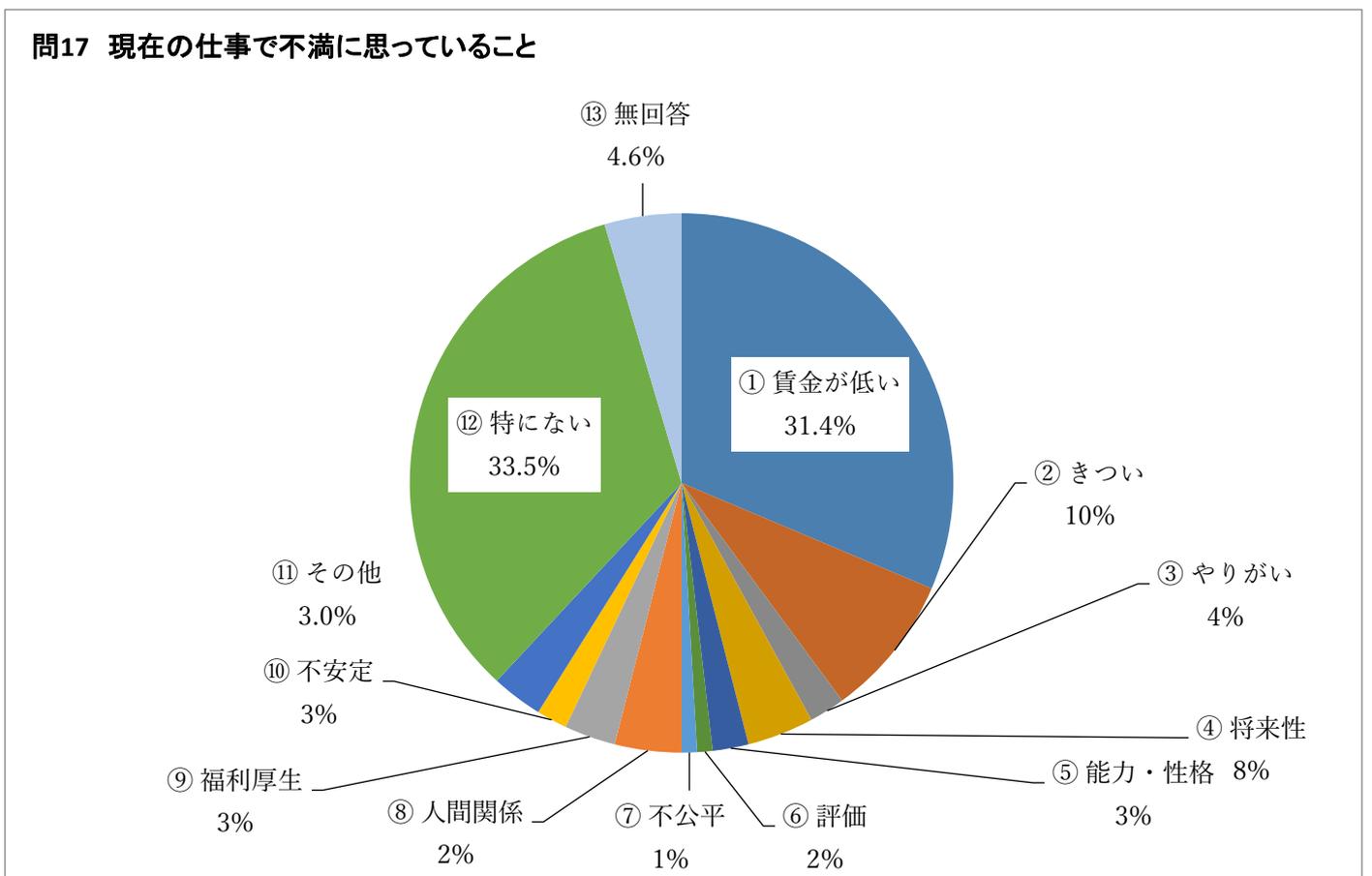
問15 女性が働くことについて



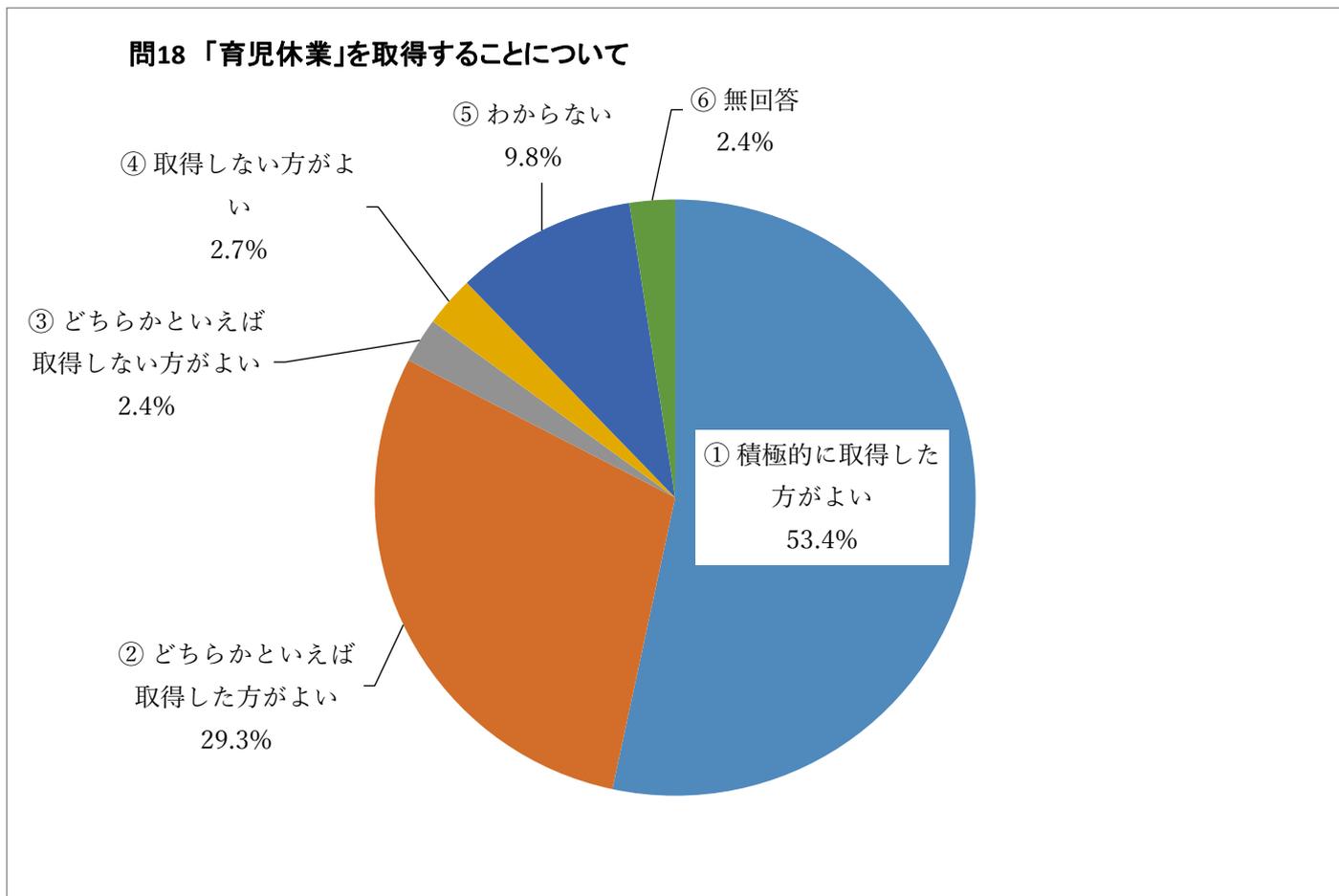
問 16 あなたが働いているのは、どのような理由からですか。



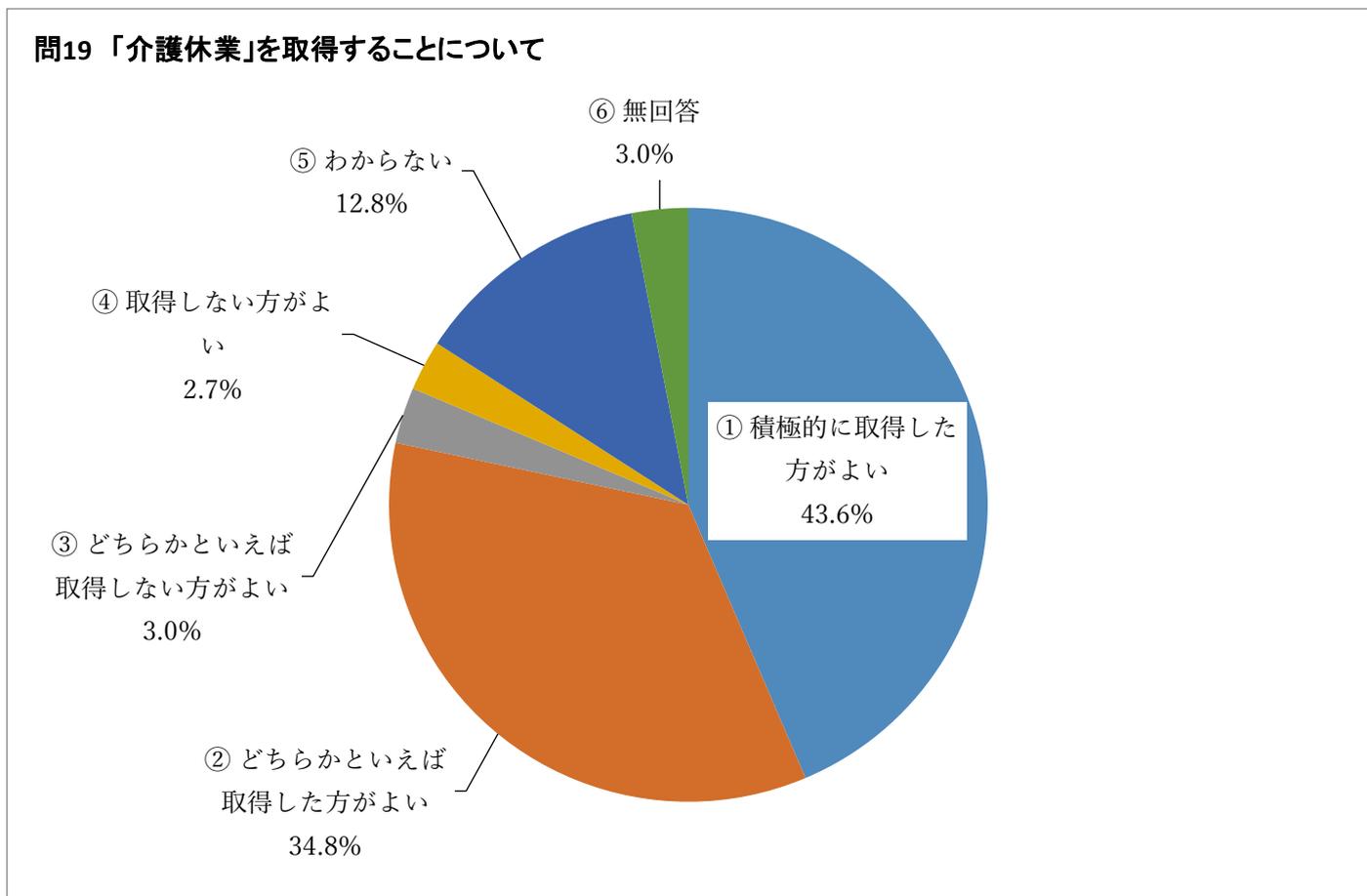
問 17 あなたは、現在の仕事で不満に思っていることがありますか。



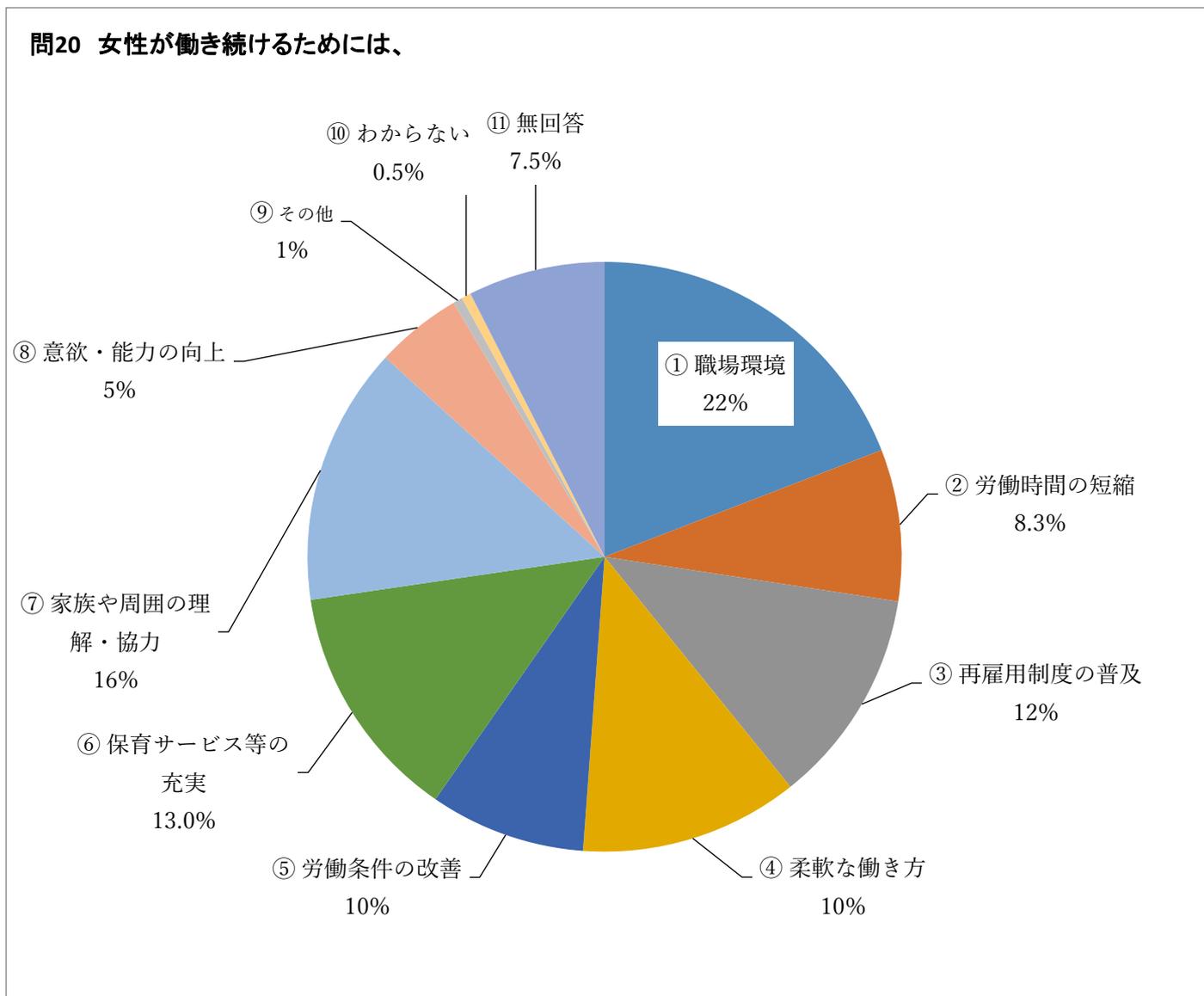
問 18 「育児休業」を取得することについて、あなたはどのように思いますか。



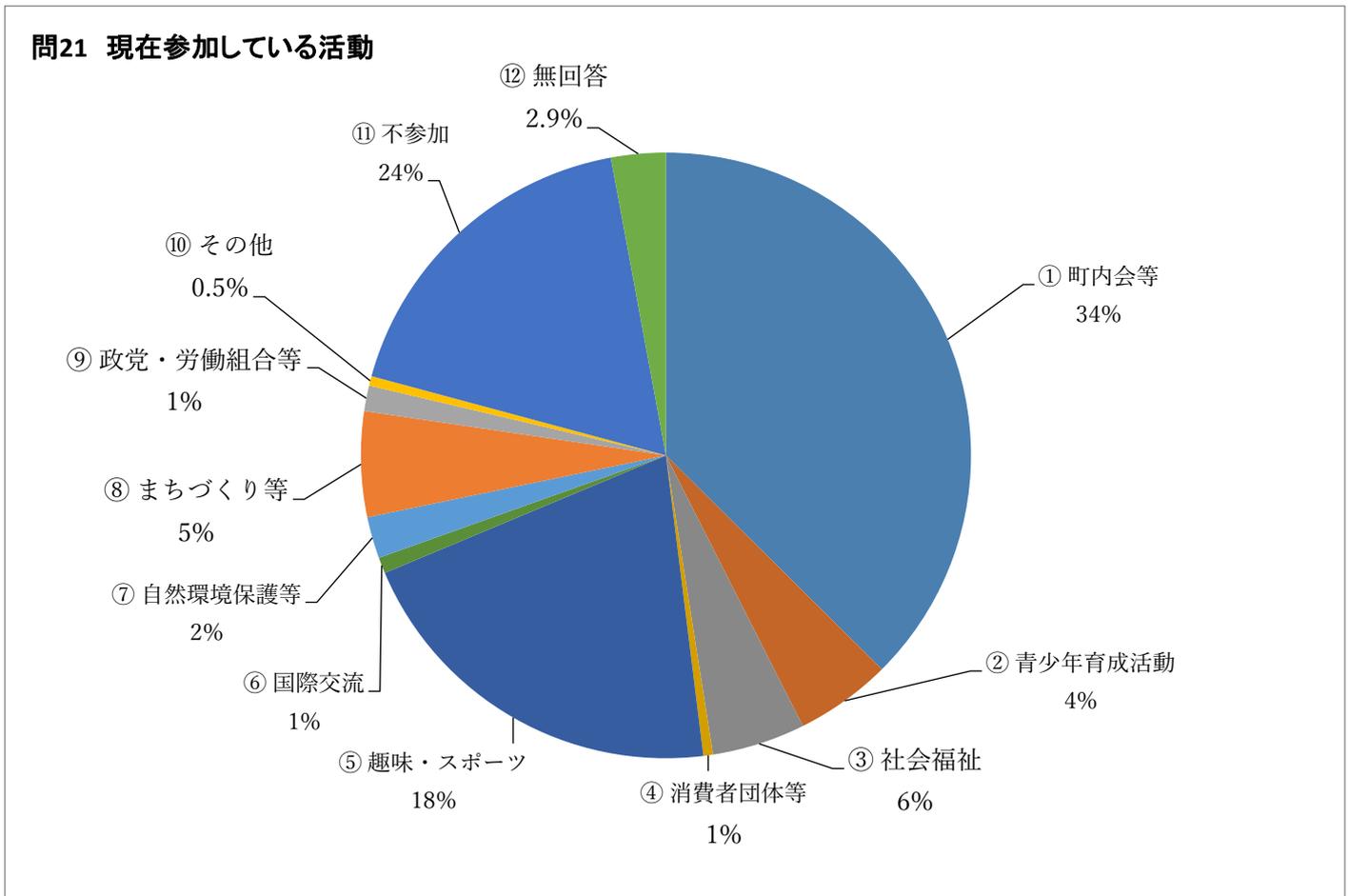
問 19 「介護休業」を取得することについて、あなたはどのように思いますか。



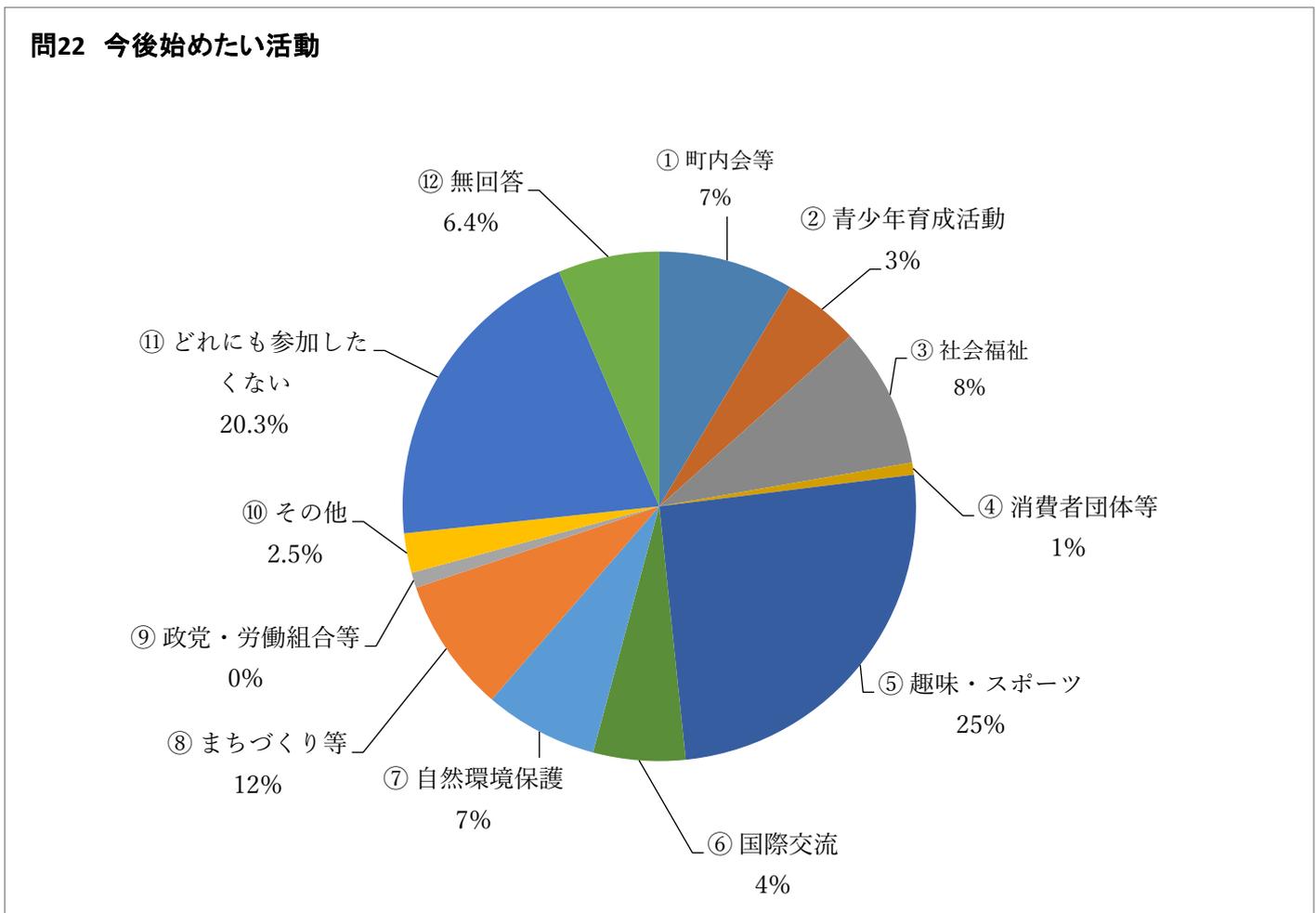
問 20 あなたは女性が働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)



問 21 現在参加している活動はありますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

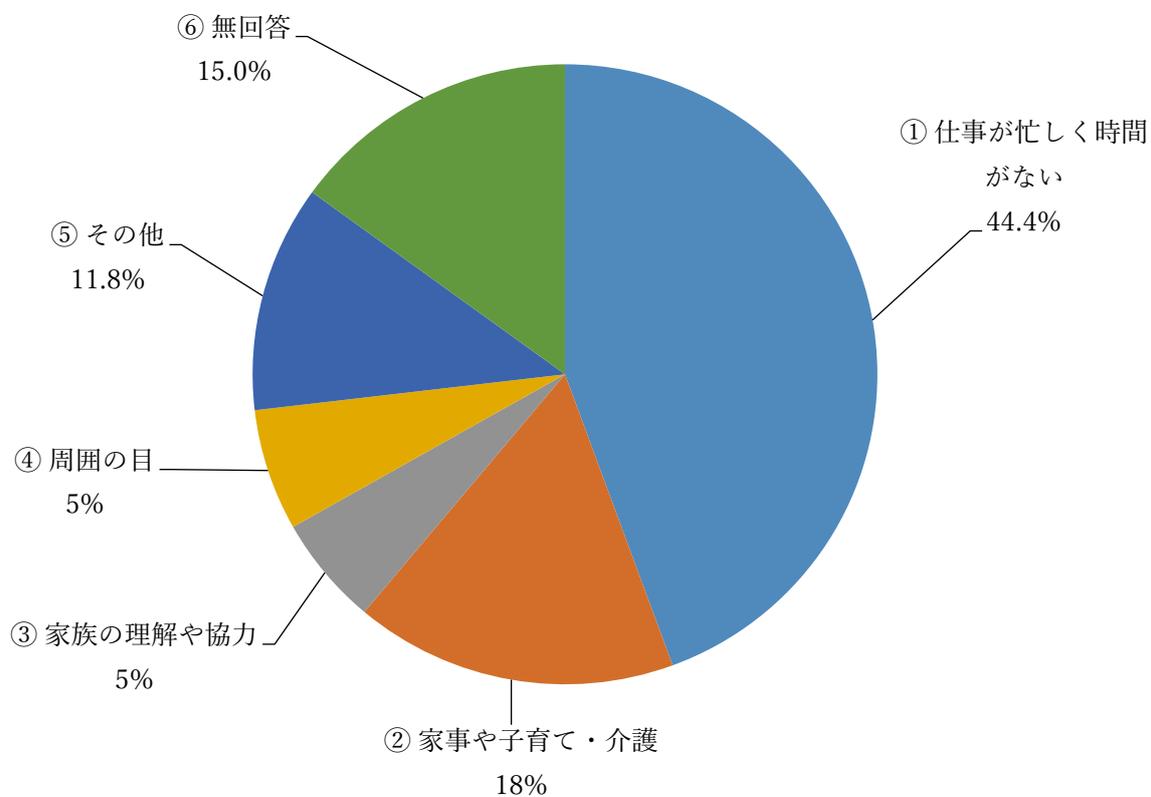


問 22 あなたが今後、始めたい活動はありますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)



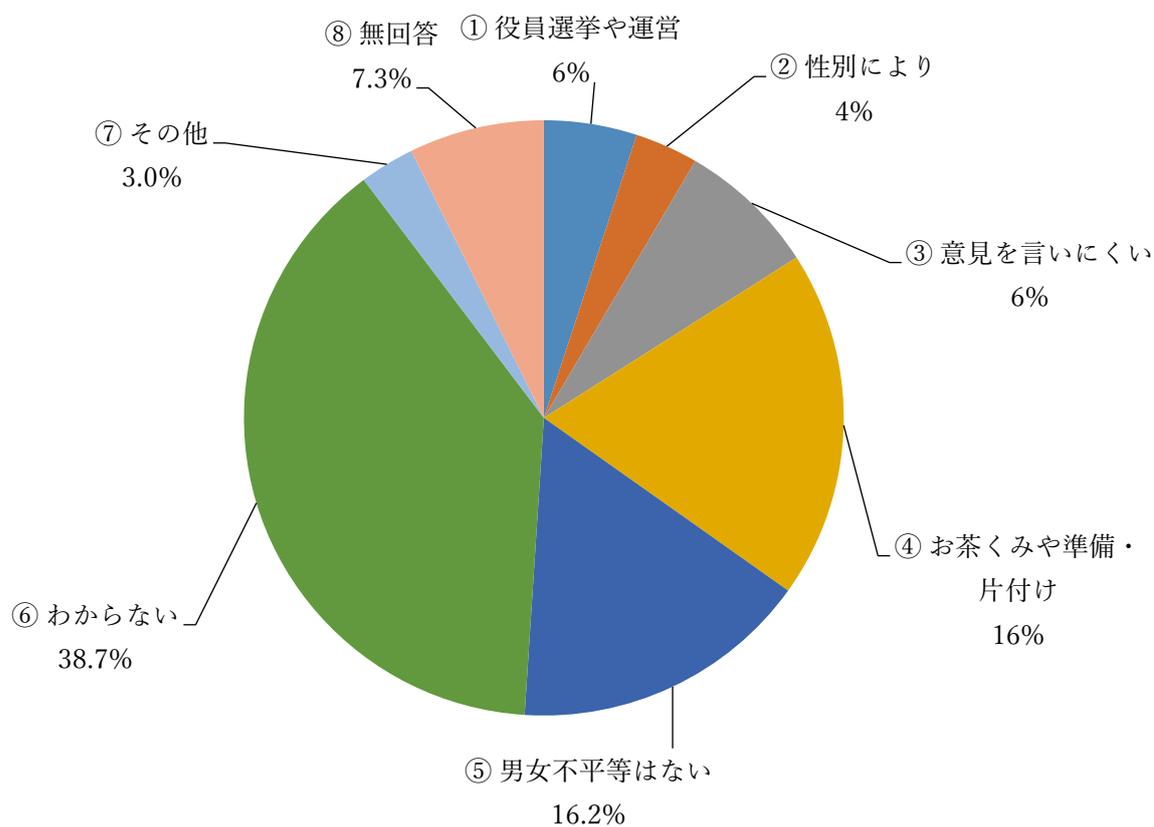
問23 あなたが今後、活動しようとする場合、障害となっていること、あるいは障害となるであろうと思われることがありますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問23 障害となっていること

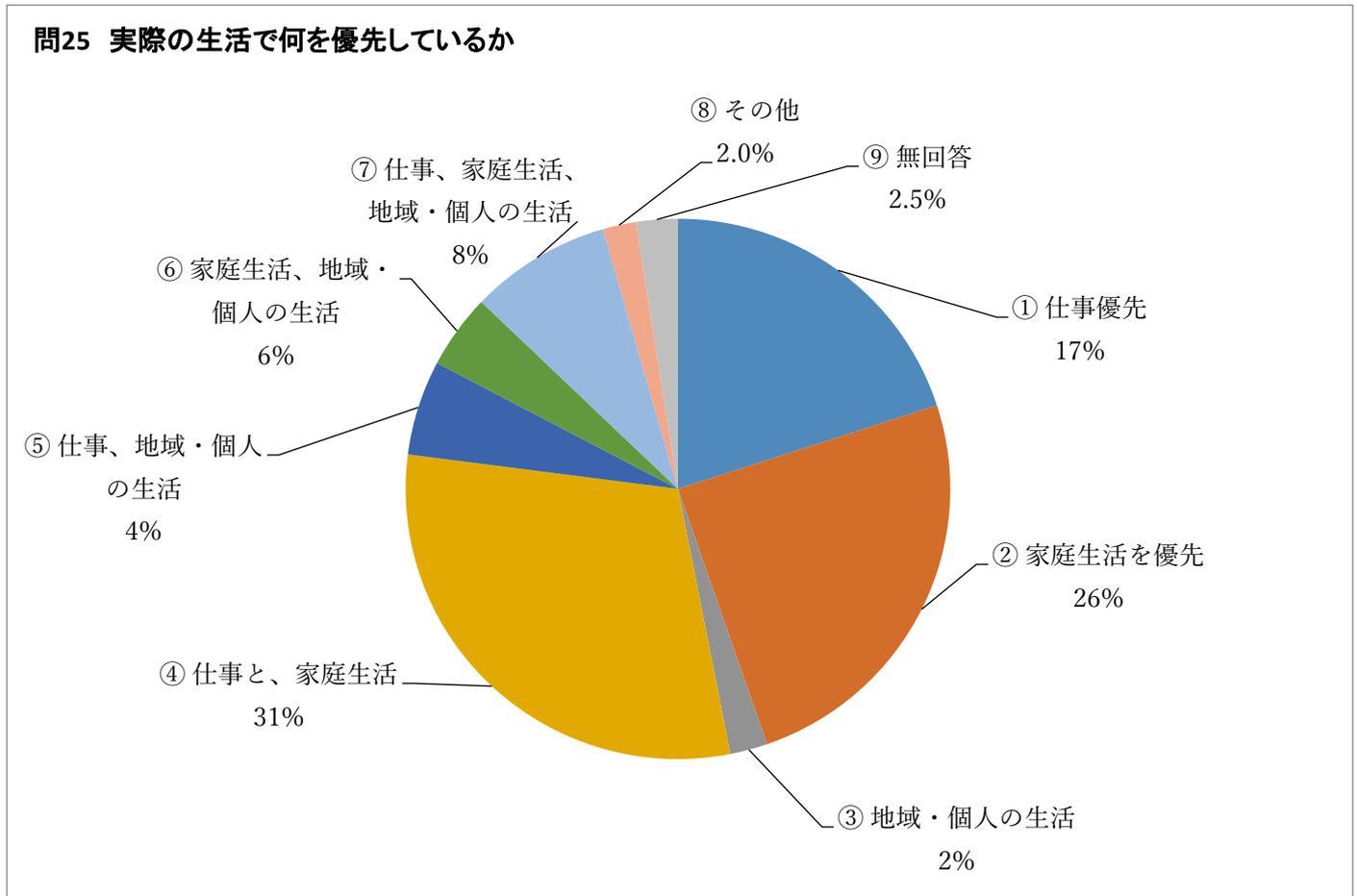


問 24 あなたが住んでいる地域において、男女不平等なことがありますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問24 地域において男女不平等なことがあるか

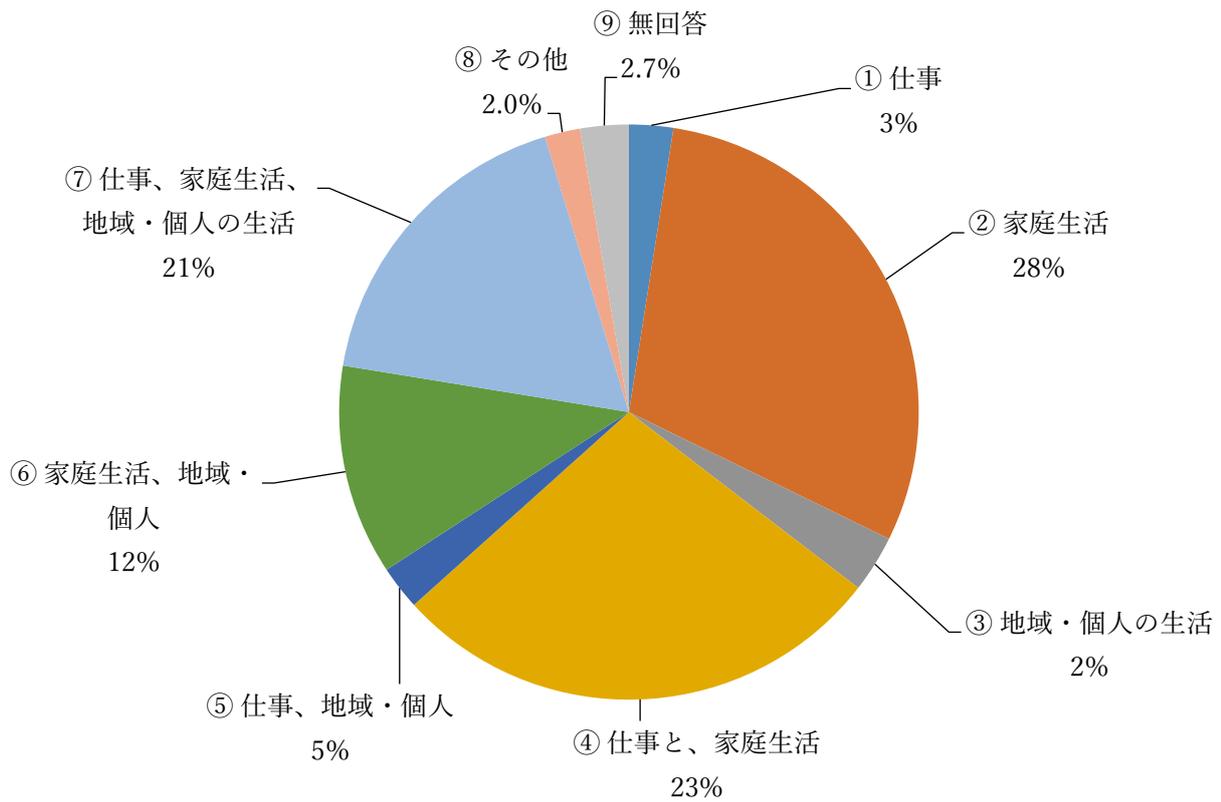


問 25 実際の生活においてあなたは何を優先していますか。



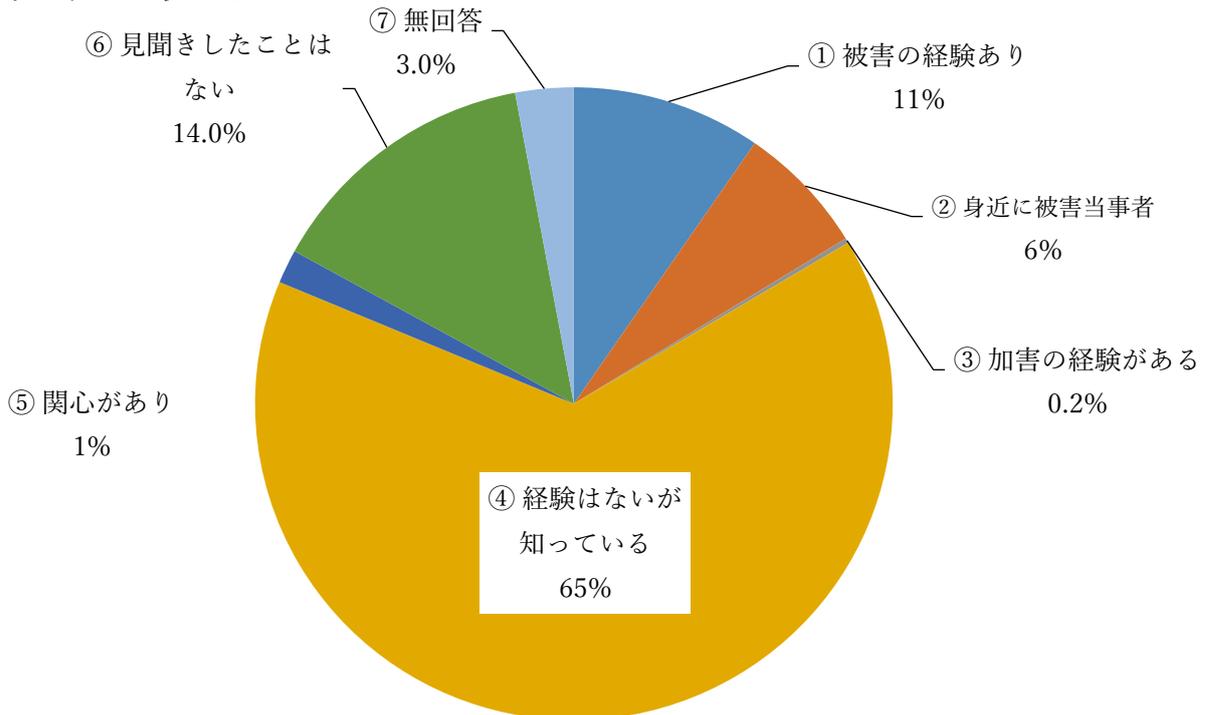
問 26 理想の生活において、あなたは何を優先したいと思いますか。

問26 理想の生活において何を優先する

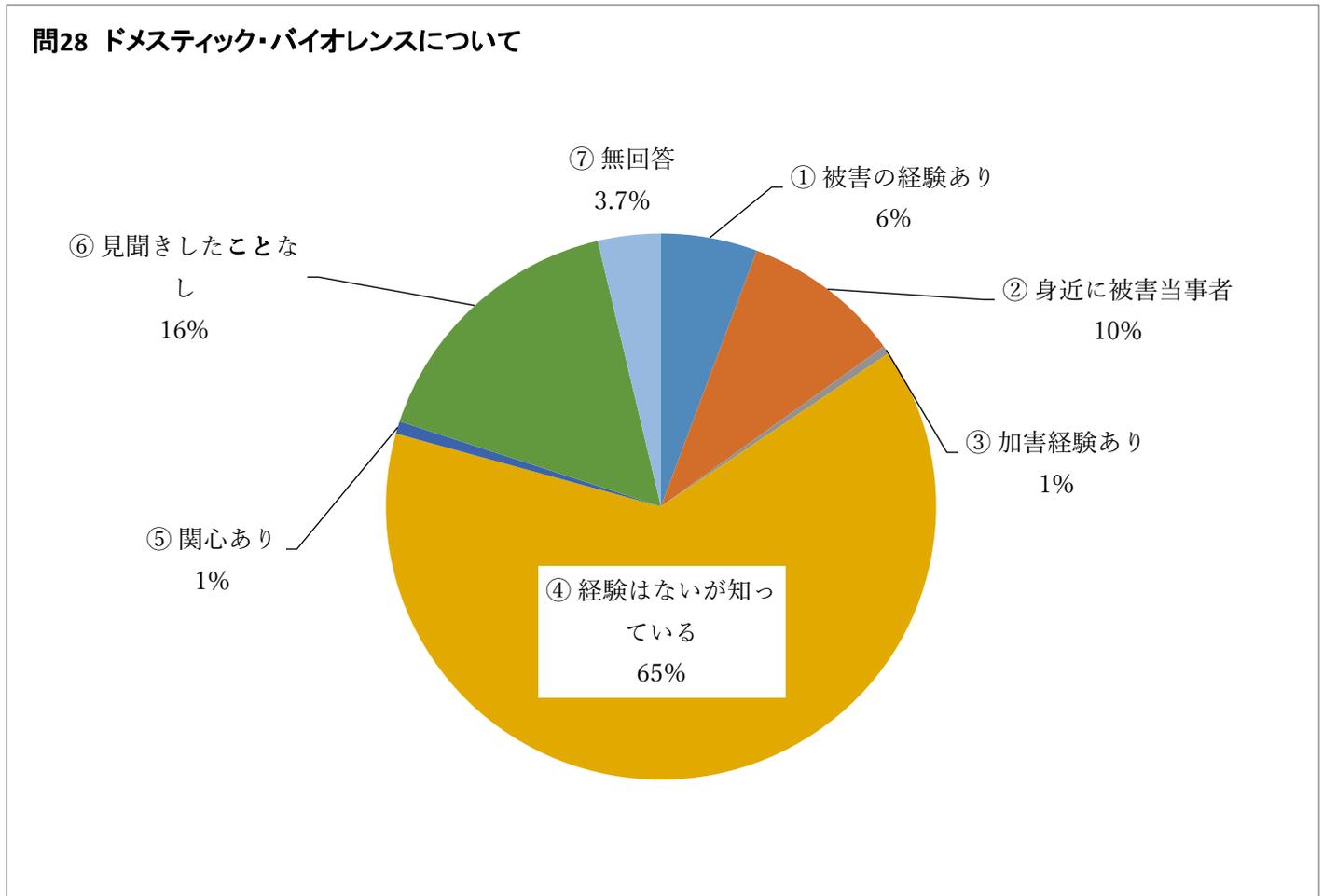


問 27 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）に関して、あなたは経験したり、見聞きしたりしたことはありますか。

問27 セクシャル・ハラスメントについて

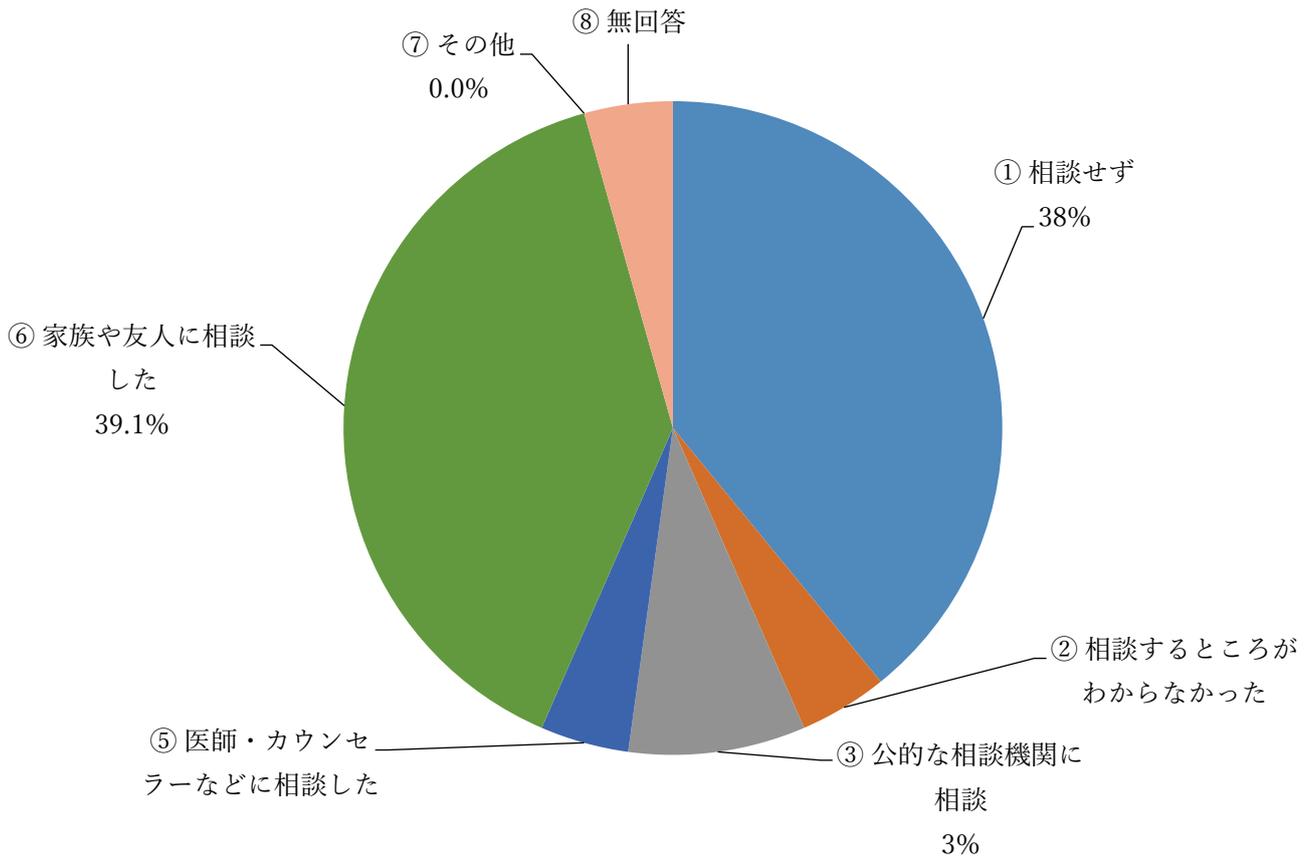


問 28 ドメスティック・バイオレンス（DV・夫婦・恋人同士などの親しい間で、身体的・心理的な暴力を受けること）を経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。



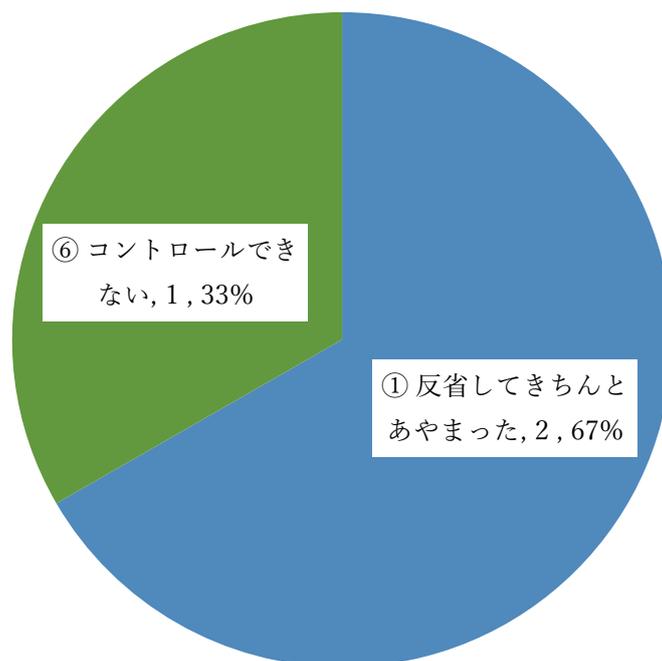
問 29 ドメスティック・バイオレンスについて、あなたはだれかに打ち明けましたか。

問29 DVについて、誰かに打ち明けましたか



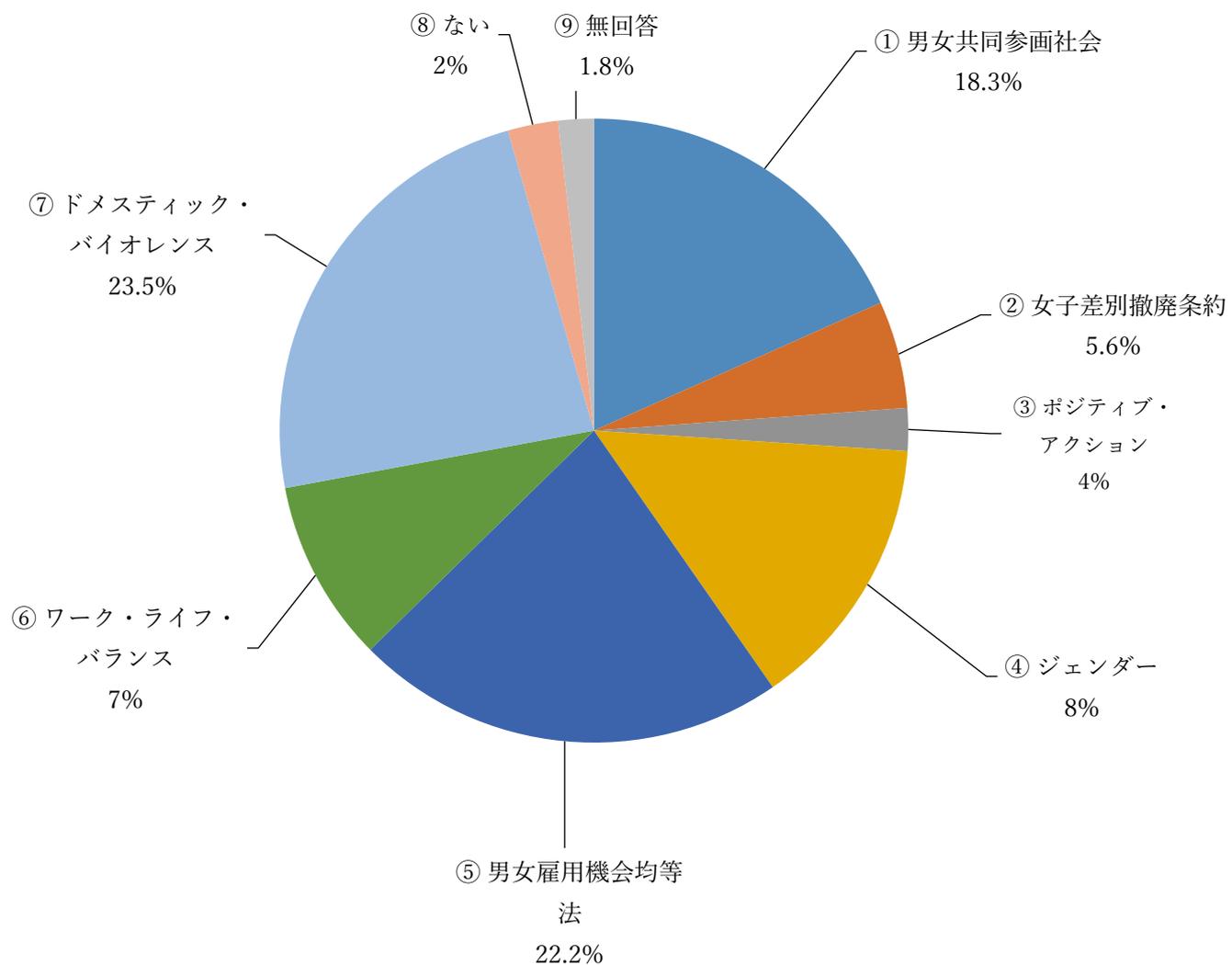
問30 暴力をふるった後、どうされましたか。

問30 暴力をふるった後



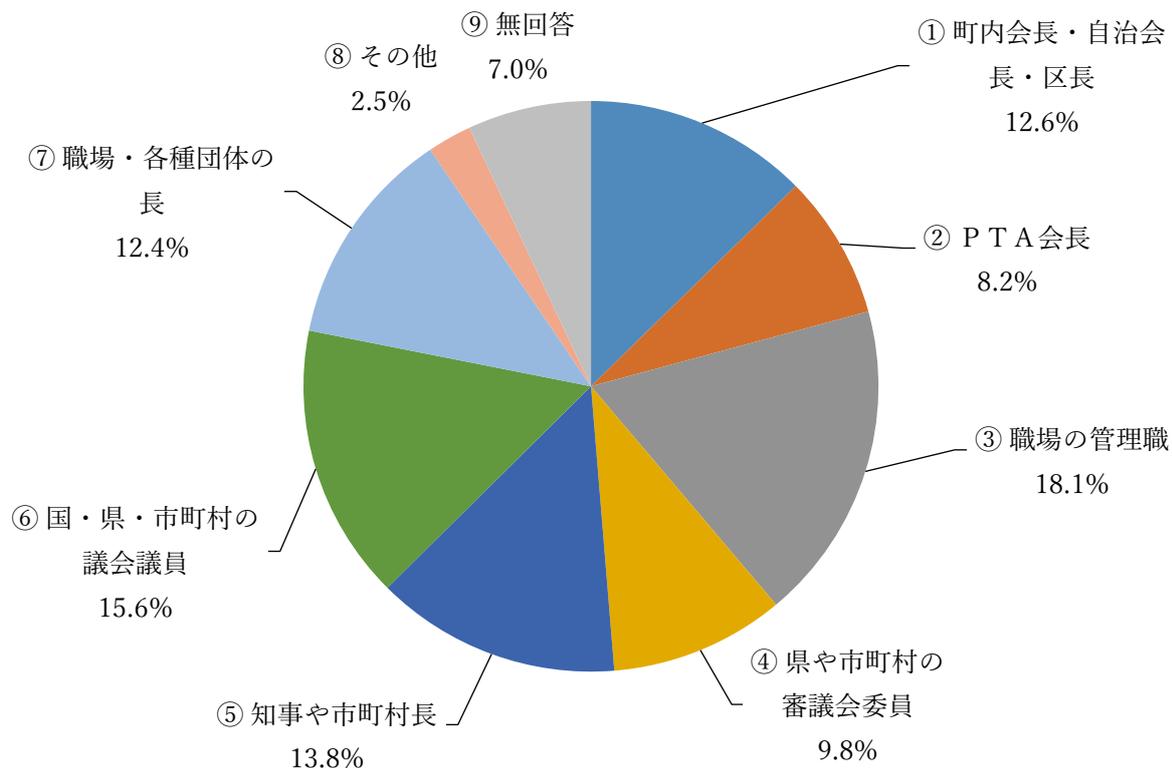
問 31 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問31 見聞きしたりしたことがあるもの



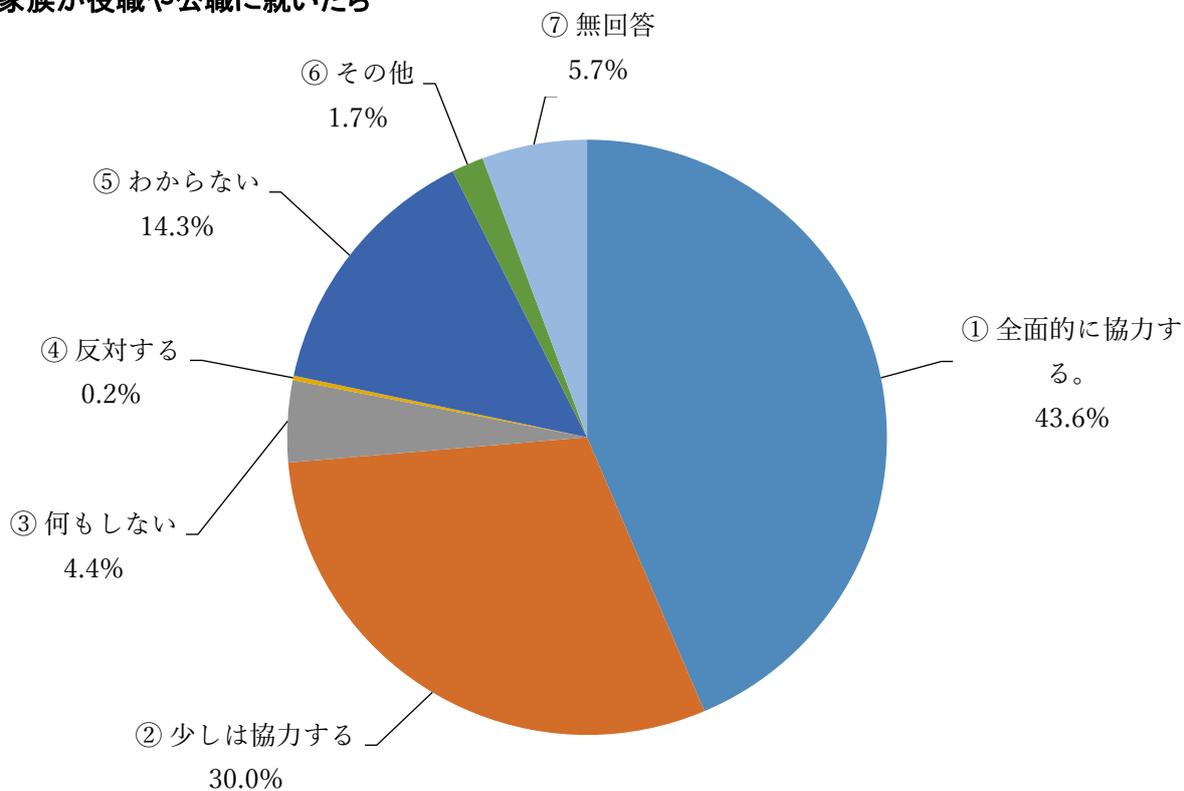
問 32 あなたは、女性をもっとつすべき役職や公職はありますか。
 (あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問32 女性をもっとつすべき役職等



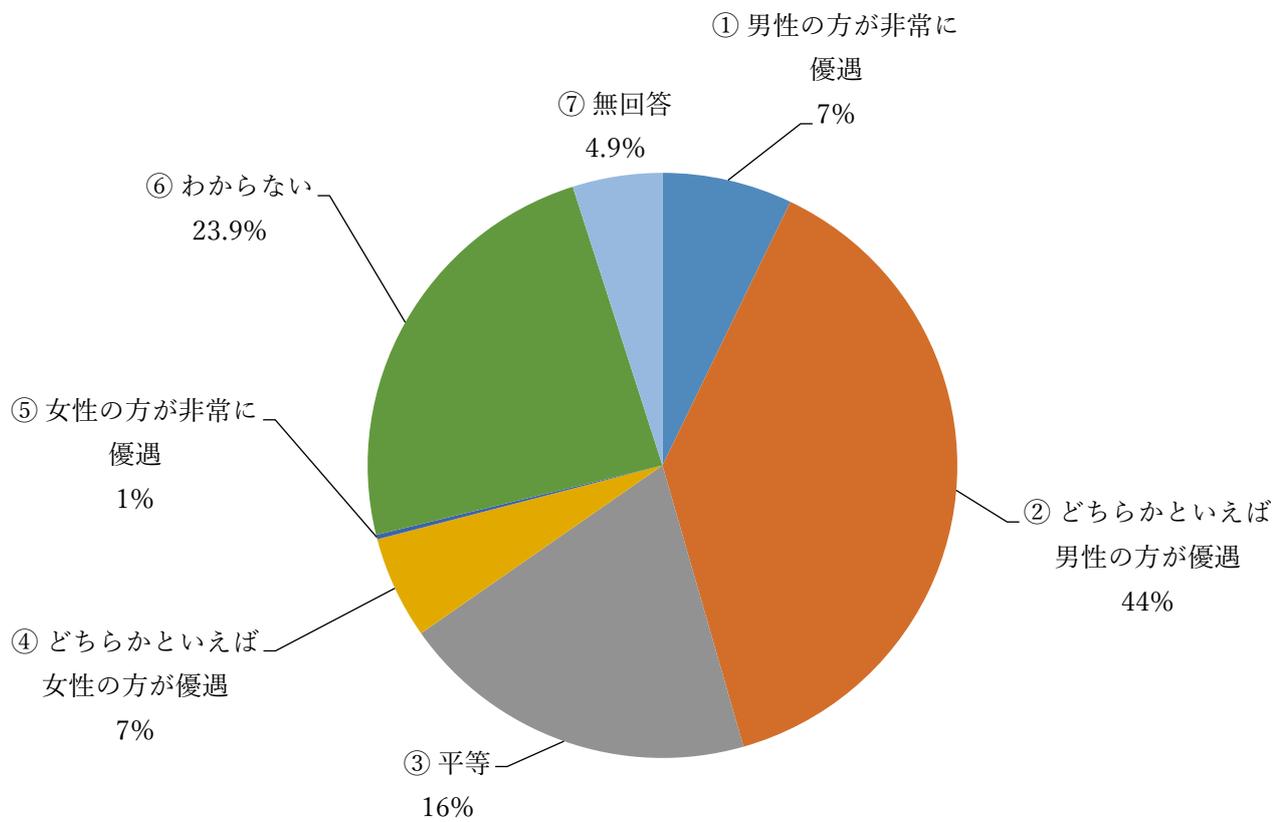
問 33 あなたの家族が役職や公職についたら、あなたはどうされますか。

問33 家族が役職や公職に就いたら



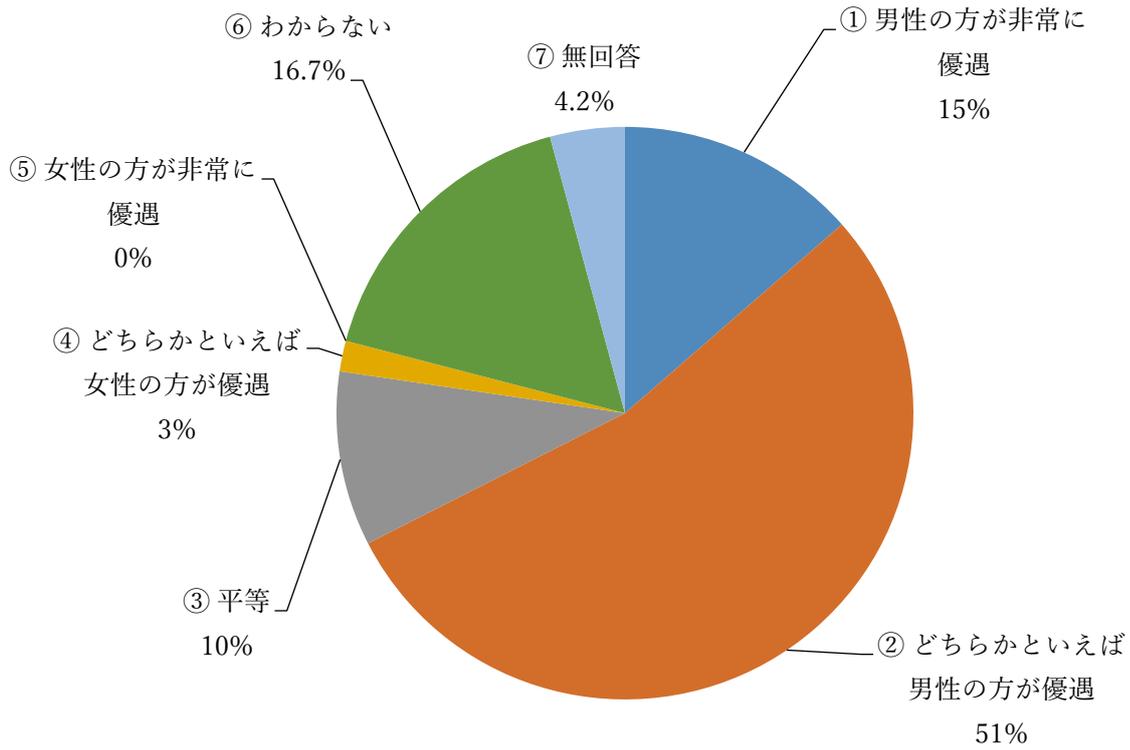
問 34 あなたは、次の場所や状況等において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
ア. 法律や制度の上において

問34(ア) 男女の地位は平等になっているか(法律や制度上)



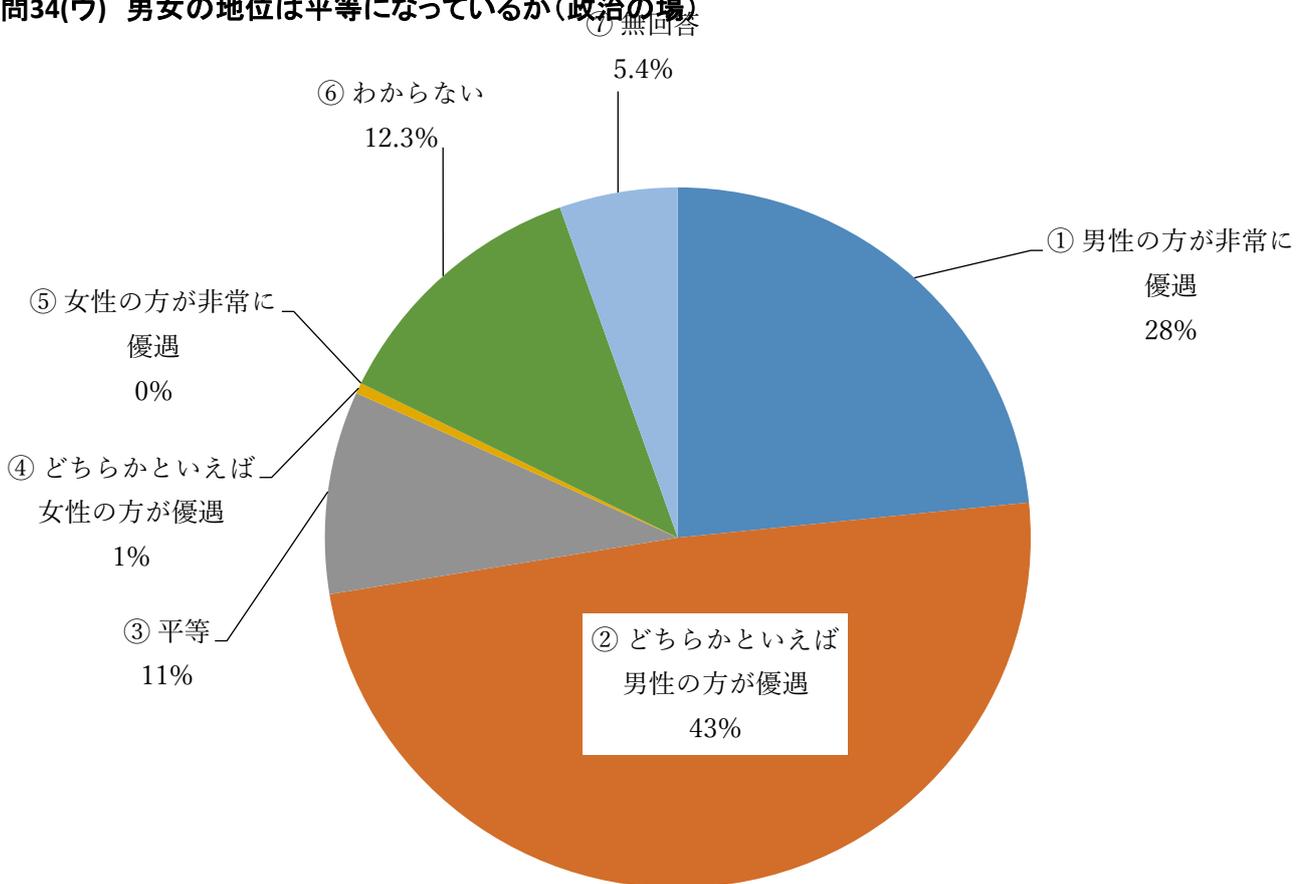
イ. 社会通念・慣習・しきたりなどにおいて

問34(イ) 男女の地位は平等になっているか(社会通念・慣習・しきたり)



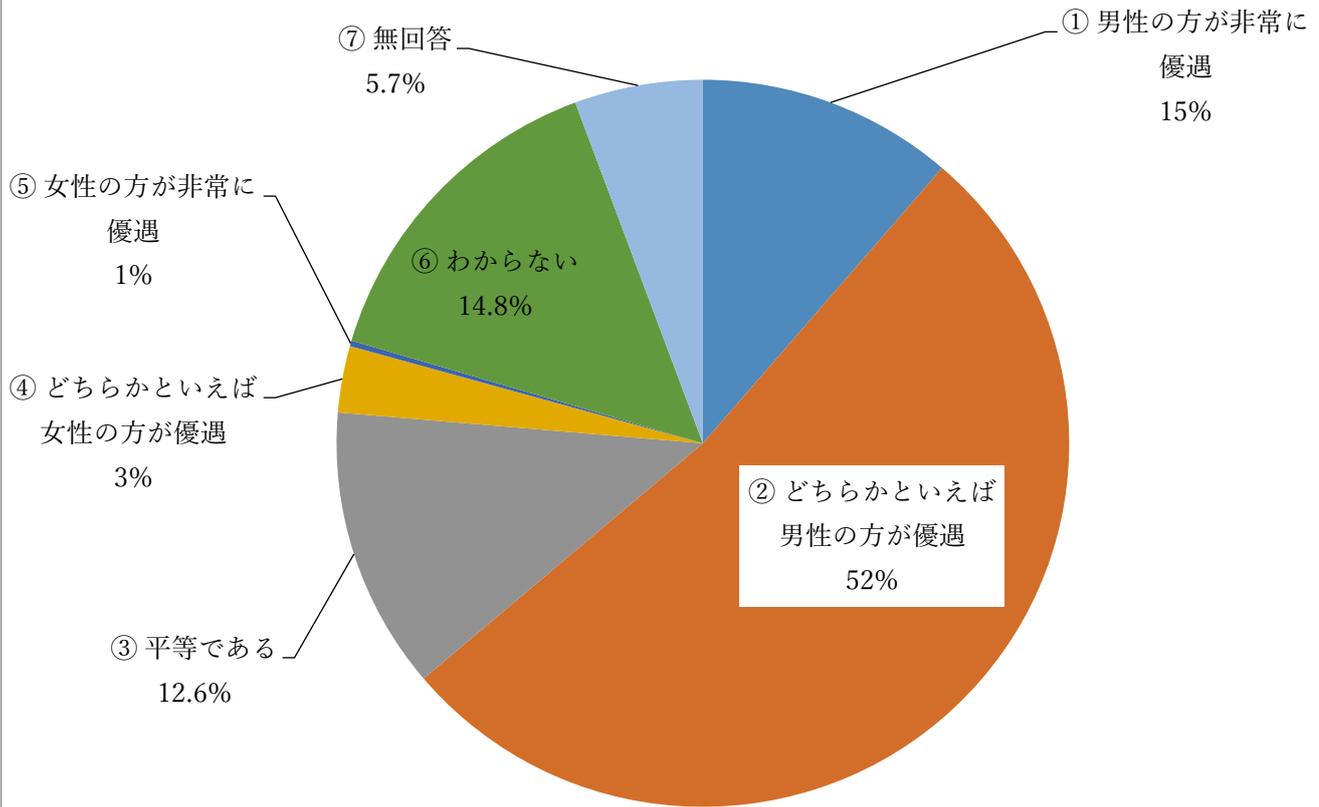
ウ. 政治の場において

問34(ウ) 男女の地位は平等になっているか(政治の場)



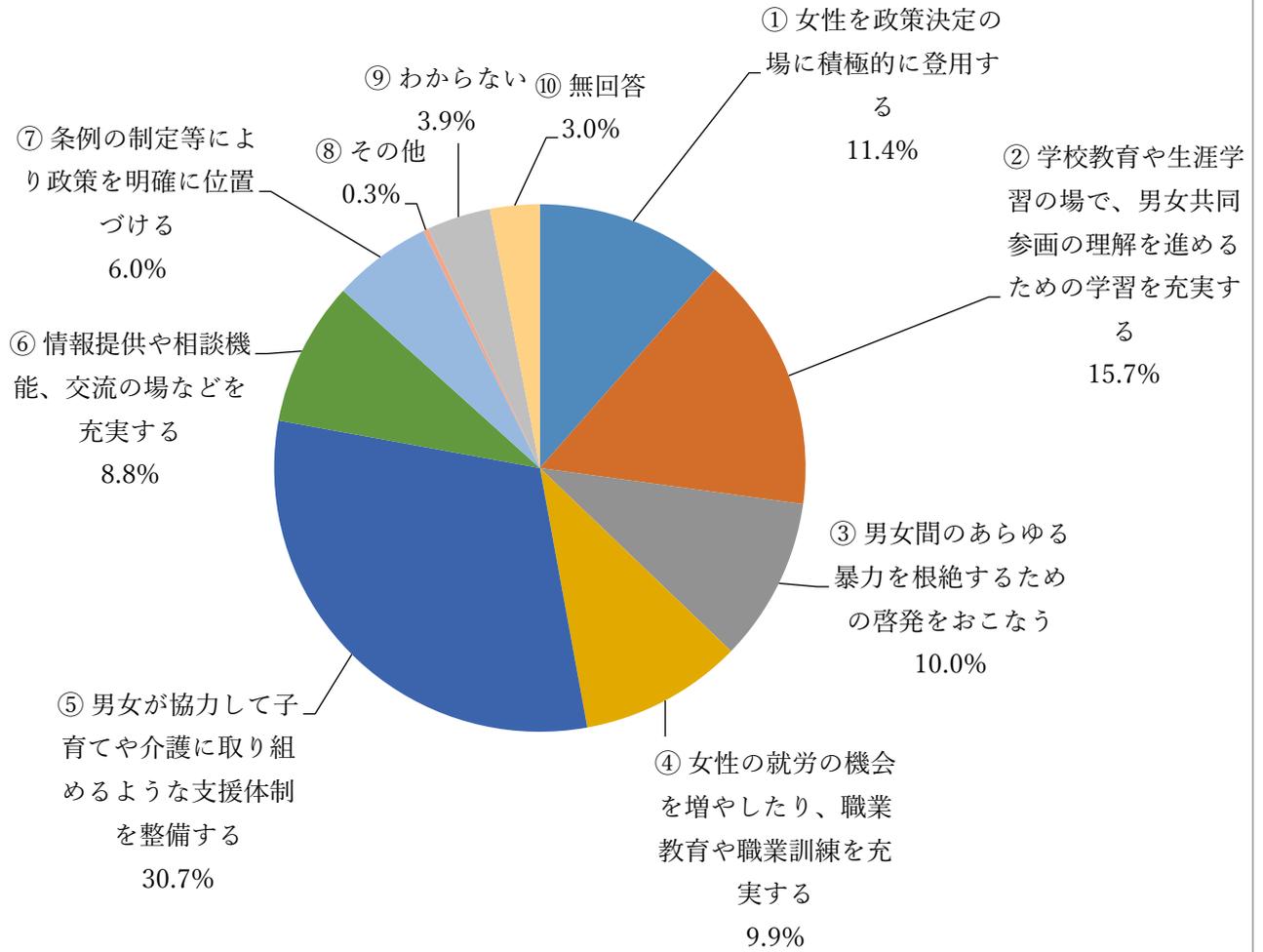
エ. 社会全体として

問34(エ) 男女の地位は平等になっているか(社会全体)



問 35 男女共同参画社会の実現に向けて、あなたは今後どのような施策に重点をおいてほしいですか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。)

問35 男女共同参画社会の実現に向けて



問 36 男女がともに輝ける「男女共同参画社会」にするためにどのようにしていけばいいと思いますか。ご自由にご意見をご記入下さい。

●女性 30～39 歳

一番にお互いの理解が大事です。でも、その理解の中に「男なら」「女なら」という日本人の悪い部分があり中々、前に進まないのが本当の事だと感じています。最初に目標を立てその目標がゴールではなく、点と線をたどる感じが理想です。その点を誰が決めて・・・その点に向かうまでの道のりはどう進むのか？お互いの仕事量にケチをつけるのではなく、1つの、問題に対しコマ切れにして一つ一つをお互いに片づける！何か足りない部分は足りている人が足せばいい、点を決めた以上、線を引続ける事が大事であり、何が大切で何が大事かを確かめ合って生きていかない限りコマ切れにした問題は1つと片づける事は出来ないのでもこの観点をおいてどう進むか？理解も協力も大切ですが、1番にお互いの「愛情」がかけては達成はないかと・・・

まず相手を思いやる事も大切です、お互い尊重しあい目標を目指す！パートナーが欠けては何も出来ない事を認識する事も1番の近道と感じます。

●女性 60～69 歳

人にはそれぞれ得意、不得意、向き、不向きがあるのだから一律に参画することは難しいが、思いやる気持ち、理解する心があれば、やっているとと思う。一部の人ばかりにおしついたり、一部の人にのみ都合が良いとか、片寄らないようにしなくてはならないと思う。

具体的にどうすればよいという提案ができなくて申し訳ありません。リーダーシップをとれる人材の育成が必要かと思う。

●女性 20～29 歳

育児、家事に関して家族同士で話し合えるような場を設ける。

●男性 30～39 歳

次の世代に早く引き継げる新陳代謝が必要です。

頭のコリコリに固まった人たちが決めていく政策や、情報弱者をターゲットにした地域活性化や方針等を提案してくるコンサルティング業者の選択も、時代に合わせていかなければなりません。

活躍したい女性がいるのならば、その女性が輝ける環境を。地域を良くしたい若者がいるのならば、その若者が輝ける環境を。

今のままだと、数年後には内子町は消滅するかもしれません。そうならないために、「住みたいまち」として、住民に選んでいただければなりません。内子ならば女性も活躍できる。内子なら若者も輝ける。等で、選んでいただけるようにするには、言い方を変えると「今のままの内子」を残すか「内子町」という場所を人や、やり方が変わっても良いから残すのか。

頭のコリコリな人たちは、伝統だとか、風土、歴史を盾に、せっかくの意見や人材を排除していくかも？かもしれません。

私も、もう歳なので考え方も固まってきてしまいました。

結論、まずはいかなる組織もガラガラポン！！新陳代謝

●女性 30～39 歳

働かないと収入が無いので生活が厳しくなり家庭生活を充実させることができない。しかし、働くと忙しくて家庭生活を充実させられなくなる。

男女共に定時に退勤でき、残業しなくても必要最低限の生活ができる収入が得られれば、男女共に仕事も家庭生活も充実したものになると思う。

●女性 60～69 歳

男性でないと出来ないこと女性でないと出来ないことそこを認め合う世の中社会であって欲しい。上下はなく本来平等であるべきだと思う。時代と共に考え方は変わってゆくものだと若い夫婦を見

て思う。

●男性 20～29 歳

女性の考え意見をもっと聞くべき。年配の男性の頭がかたいと思う。若い者の意見も聞いてほしい。

●男性 40～49 歳

女性がもっと働きやすい環境づくり、子育てしやすい町づくりです。やはり、全体的に労働者を増やしていかなければいけません。

●女性 40～49 歳

女性が仕事をする事、役職につくことは難しいと思いますが、同じ所で長く仕事している人には積極的に役職をつけてほしい。その為には、残業などをなくすような取り組みをしてほしい。

また、職場によっては、社員なのにパートや非正社員の方が仕事をしている所もあると聞いたことがあるので、そんな職場は改善していくべきだと思う。

また、このようなアンケートは内子町の会社にもしてもらおうようにしてほしい。

今は女の人たくさん仕事している人が多いので・・・

本当に現場の意見を聞けるようになるかも？です。

●女性 50～59 歳

まだ、身近な小さな環境では女性は、男性はこうあるべきという考えが大きいと思います。

もちろん体や体力の差はあると思いますが、お互い協力しあうことで、上手くいくこともたくさんあるはずです。

～であるべきという考えをなくしていくことが、男女だけでなく全体の差別への考えが変わる一歩だと思います。

●女性 20～29 歳

女性であるから” という理由だけで不当な扱いを受けることは人権的にも憲法的にも話にはならない。声を挙げて「それぐらいで・・・」と批判されない世界が良いですね。

声を挙げてもけむたがられない、加害した人を悪とし、正当な手段で裁く、それがなされてこそ本来の” 平等” ではないかと思います。

加害者が女子だと世論は被害者を批判しますが、男子だと加害者を批判するのが多いように思います。男子が優遇されているというより、女子が不当な扱いを受けることが一番多いのでは、性によって対応を変える人が少なくなると良いですね

●女性 20～29 歳

育児する男性が増えているので、男性トイレにおむつ替え台や男性でも入れる授乳室をもっと増やして欲しい。

●男性 30～39 歳

まずは自分自身が社会でも家庭でも政治でもどの場面でも男女関係なし、その人個人を見て接することが出来るようになりたい。

●女性 30～39 歳

女性の意見を受け入れることに抵抗のある方がまだ多いです。賃金が低いのは田舎なので仕方がない事。それでも頑張っている企業はたくさんいます。簡単には上がらないもの。それをどうするかも企業だけではなく町も一緒に考え、何か1つでも盛り上げ継続していける事業があればと思います。若い方々が続けられる事業があればと思います。

●女性 20～29 歳

セクハラは女性が男性に仕えるものという考えから生じます。あとDVという問題も数多く増えています。ストレスなどがたまり、外でぶつけるなどあるいは子供、奥さんなどにぶつけてしまうことです。

DVしている男の人は外ではそんなことやる人には見えない場合があります。

そういう点では家族（家庭）で欲求不満を発散させていることも、DVの原因だと思います。

社会的にたくさんの事がまだまだあります。女性への被害がかなり多いのでセクハラ、DVは被害が多くなる前、とりかえしのつかないうちに早く対策してほしい。

●女性 60～69 歳

男の子は男らしく、女の子は女らしくという項目がありましたが、その子はその子らしく、この子はこの子らしく育ててほしいと思いました。

結婚すると共働き、子育てと大変ですが、男女それぞれの特性を生かしながら、協力しあって、家庭で、職場で、その人らしさを出せながら、頑張っって欲しいと思いました。

●男性 70～79 歳

・人間は生まれた時（誕生）から、平等である。「根本的な事を考え」に立って行動できる社会への教育と行動。

・子ども達への「道徳の時間」教育にて「身体の健康、心の健康」を構築し、明るい未来の社会を作る、支える人を育てる。

●男性 70～79 歳

こういう運動はあんまり先栄化せずに、道徳の問題としてする方が良いのではないかな？

イ男女差別

ロ障害者差別

ハ同和差別

どれをとっても、「及ばざるは、過ぎたるに勝れに」になっている。

特に同和問題は、新しい差別が強くなった。

全く知らなかったとき「橋のない川。」から何年かたち、まちの研修、郡の、県の、そして中四国の研修に行って、そして「同和問題から、人権教育に「こんな差別は絶対に有ってはならないからほれるのはかまんが、ほれられたらいかんよ。」になった。問題は道徳の問題だと思う。

●男性 70～79 歳

それぞれと自分の役割を自覚する

●女性 40～49 歳

「男性が優遇されてる！」とか「女性をもっと！」みたいな気持ちは特にない。

それぞれの家庭や職場でお互いがお互いを尊重し思い合っって気持ちのよい生活ができるような環境作りをしていけたらいいなと思う。

男性がいたら助かる時もあれば女性だけの方がスムーズに事が進む事もあり逆もあり、何でもかんでも平等にしないといけないというのも難しいのではないかなと思う。

●男性 20～29 歳

男女ともに育児休暇など取りやすいようにする。

●女性 50～59 歳

男性も女性も意欲に応じて、いろんな分野で、活躍できる社会で欲しいと願っています。

平等に扱っしてほしい 女性はまだまだ男性と対等ではない……。等々この問題を解決するにあたっって男性が悪者になり批判の対象になってしまうこと。

それがなかなか解決に向かわない考えの1つではないでしょうか。

昔と比べると、皆の考えや発言も変化してきたとは思っています。なので、男女共同参画社会について、発信続けること、勉強の場を設け、勉強し続けていくことが大切だと思います。

●女性 40～49 歳

その人が生まれもった能力を活かし、豊かな人生を送れるような社会にしてほしい。

●男性 30～39 歳

「男女共同参画社会」を実現することで生じるメリット、デメリットを見据えて活動していく。

●女性 40～49 歳

なかなか難しいところもありますが、一人一人の考え方を優先して話を聞いてあげられる社会であってほしいと思います

不安や不満をため込まず吐き出せる場があればいいですね。

●女性 30～39 歳

すぐにできるものではないと思うので、地道に様々な活動を通して、社会全体に理解してもらえるようにする必要があると思う。

高齢者と若者の間には考え方や重要だと思っていることにはかなり差があるように思う。(男はこうあるべき、女はこうあるべき、といったようなことなど・・・) その差をなくしていけるような働きかけが必要だと思う。まずは1人ひとりの意識、考え方を変える(受け入れる)必要があると思う。

●男性 60～69 歳

男女共々の特権を伸ばせる社会制度の充実

●男性 30～39 歳

活動を増やすより個人を認めますと宣言して男女関係無く平日の仕事生活をして見せる。

●女性 50～59 歳

小学生から、学校で教えていけば、大人になった時に活かされると思います。大人になってからいっても、頭が堅い男性には理解が難しいと思うけど、子供の頃から身につけていけば、男の人も柔軟な対応が出来るのではないかと思います。

●女性 60～69 歳

何か(大きな)物事を決めたりする場合、女性の参加者を増やし女性の意見も取り上げていける会の在り方が必要。

●女性 50～59 歳

このアンケートは男性目線で作成されている。

性を理解し、女性が出産育児で仕事を離れなくて良い社会、又、職場に戻ってきた時に今までの地位が確保されるように。

●女性 40～49 歳

「出産」・・・これが女性の人生を大きく左右してくれると思います。

昔と比べ子育てしながら働く女性の環境はとてよくなったと思いますがやはり「出産」のタイミングで仕事を「中断」しないといけなくなります。

「中断」を好まない女性がいる。

「中断」を好まない男性もいる。

それだからどんどん少子化が進んでいく。

「出産」の時もっと社会が手をさしのべてくれるような環境になってほしい。

●女性 40～49 歳

出産する女性は仕事を辞めざる終えないのは現実です。そのためには男性の育休をすすめ、保育所、病後児保育、学童の施設を充実させなければならないと思います。

女性が結局子供が病気になれば仕事を休まないといけません。その時の職場の負担は大きいです。どちらかが休んでも負担が軽減できる環境を整えてほしいです。

男性の管理職が多く、もっと部下の良いところを見つけてほしいです。そして意見を取り入れてほしい。自分だけが良いのではありません。女性の管理職：内子町は少ないのではありませんか？

もっと内子町の現状をオープンにしてほしいです。

子育てしやすい町作りをしてほしい。病後児保育を早期に作って頂きたい。場所等、維持費等が発生しますが、既存の建物を使うとか、病院に併設する等検討して頂きたい。男性の副町長ではなく、2人体制や女性の登用してほしい。男性目線での対応が多い、柔軟い対応が内子町では不十分である。町民目線での仕事をしてほしい。

管理職の方は上から目線が多い。観光施設等の人材登用は誰がされていますか？施設内の清掃ができていませんでした。現在、清掃は誰がされていますか？きちんと管理してないから部下達は仕事をおろそかにしていると思います。町民の税収を給料にされているのですから、もっと町民ファーストを考えて仕事をして頂きたい。

女性が輝く部署を多く築いてほしい。保育園関係は国家資格を持つプロがいるのです。どんどん知識を活かせるよう活用していかないといけないと思います。

●男性 60～69 歳

女性の意欲を持たせる（引き出させる） 平等と言っても、女性に意欲が無ければどうにもならない。

●男性 60～69 歳

内子町における課題として

①町役場の課長クラスポストに女性が一人も登用されていない。

女性枠を設けるくらいの人事管理を行う必要がある。

②内子町議会議員に女性議員が一人もいない。

これらのことが、内子町が「男女共同参画社会」の問題に遅れていることを表している。

このような自治体はたるんでいるのではないか？

●女性 40～49 歳

男女がどうこうというのではなく、若者が年配者を尊敬し年配者は若者に耳を傾けお互いがコミュニケーションをとるべきだと思う。

男だから女だからということではないと思う。

そのことをクリアするために男女が関係なく過ごせる社会であればよいと思う。

何か大きく男女平等とか共同参画！！とか声をあげることでいろんなひずみが出て、生きにくい世の中になってきた。

●男性 70～79 歳

へき地では人間不足老人ばかり 何も出来んじゃろうな？

●女性 30～39 歳

今回のアンケートを答えるまで男女でのさまざまな差をあまり意識したところがありませんでした。女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくという言葉自体あまり悪い意味でとらえた事がなく改めて考えることが出来ました。

生活の中には女性でないと出来ない事（出産など）や男性の方が向いている事、また性別にこだわらない方がいい事など様々だと思います。個人個人を尊重しあえる事が大切だと思います。

●男性 60～69 歳

男女を問わず、その人のやりたいこと、挑戦したいことがあるなら、その足を引っばるのではなく、応援する社会のしくみだと良いと思います。

管理職や議員の女性の割合が何%で他国と比べて低いとかは、そんなに気にしなくてもいいと思う。

●女性 50～59 歳

- ・健康な心と体をつくる。
- ・何事を形にはめる事なく個人を尊重する。

・小さい頃からの環境が影響するので指導、勉強する。

●男性 60～69 歳

男女が平等に生活できる社会に成る様に願っています。

●女性 30～39 歳

賃金が安く、年をとると不安になる。

年金がもらえなくなるのではないかな？

そうしたら、今働かないといけませんが、賃金が安い。

介護の職場、病院等は介護士に国から以外に社会がもっと給料を上げるべき。

●女性 30～39 歳

働いても子供のために休みを取りやすい社会になってほしいです。

行事や子供の熱やケガで休みをとっても心苦しくない環境や有休あつかいなど経済的なサポートがあれば男女ともに仕事と家庭や子育てを両立できると思います。

男女ともに仕事をバリバリやりたい人も家庭で家事育児を主に向き合いながら働きたい人もどちらも尊重してもらえるような社会になってほしいです。

●女性 20～29 歳

もっと女性が働きやすい社会にすればいいと思う。

(会社に保育園がついているなど)

男性も家事を手伝うのが当たり前になるといいと思う。

●女性 30～39 歳

南予地区に室内遊び場がない。雨が降った時や、いつも近くの公園などではあきるので、飲食可能な施設があると、家から出かけやすい。特に子供が小さい時期は、家に引きこもりがちになり易い。内子町に在住だが屋外の施設や店に行っても、おむつ交換や子供の椅子、子供を乗せるカートなど少ない場所が多い気がする。子供と出かけるにも、先々のことを考えて出掛けなくていけないため、気を使う。

個人的な家庭環境だが、転勤族なので、近くに知り合いも、身内も居ない。

旦那が仕事でほぼいないので、小さい子供がいるので、自分(妻)が調子悪くても、なかなかすぐ病院に行けない。

一時保育とまではいかないが、病院に行く時間でも、預けていける場所があると大変助かる。

病気は予定通りにならないので、前もって連絡もできない。

平日の日中、連絡すれば、気軽に子供を預けられると大変嬉しい。

●男性 30～39 歳

そんな世の中は来ることはない。

●男性 60～69 歳

・都会と田舎の格差が大きいので田舎にも大きな会社が来て欲しい。

・若い人の働ける場所が欲しい。

・収入の安定した職場作りをして欲しい。

●男性 30～39 歳

心豊かな生活の中にあって、充実した安定的な仕事があればすべて安心した生活ができます。居住地に働き場所があればもっと輝けるものが出てくると思う。

●女性 70～79 歳

町会議員に女性が一人もいないのは共同参画社会とはいえないと思う。

あて名は男になっているが、家族が記入したが(あて名の人を書いてほしいとなっていました)男女のあて名は半分だったのでしょいか？

●女性 60～69 歳

個人個人の考えによりますが人間として1人の人間にどう対応すべきかお互いに認め合い尊敬する気持ちを持っている事が大事ではないでしょうか。

人間作りはまず子育ての中で育っていき周りの社会はそれを見守り助けていけばいいと思います。子育てしやすい社会を作らないと子供は増えないと思います。

●女性 50～59 歳

男性、女性が社会的立場、権利については平等でなければならないと思う。

社会的慣習はかなり難しくさせていると思う。

案に、目標や、条例等で、人数の割振りをするのではなく、本当にその人が、その場にふさわしい人かを考えた人材を、選んでほしい。

●男性 70～79 歳

男女の特性を尊重して、仕事、公務、社会活動が行えるように誘導する必要があるが、男女を平等という観点で同じことをしろといった考え方は、社会家庭のリズムが狂い、国、地球の発展性がなくなるのではないかと。差別や区別でなく何でもかんでも男の行動を女がしろとか、女の行動(分野)を男もしろといった考え方は、それこそ、顔なき人類となるのではないかと。

一部のLGBTは尊重しつつも、無理に男や女の比率を高めるなどという今求められている男女共同参画のはき違えとおもいますが。

男らしさ、女らしさを参画に記載行動すべきでは。

●女性 40～49 歳

産休、育児休暇を取得していない職場がまだある。マタニティ・ハラスメントも根絶できない職業もある。育休を取る男性は、聞かれない事実には、偏見が見られるためと思われる。

子供の減少には、そういったところに根強く残っている男女の格差がなくなると増える傾向は難しいと思う。

●男性 30～39 歳

計画の意味が分からない

●男性 40～49 歳

おむつを替える場所が男子便所にも増えたらありがたい。身障者用トイレにあたりすぎるが、車いす用トイレが店内にそこしかなかったりするので使いづらい。

臨時職員から正社員への道を充実させる必要がある。(22条職員含む)

●女性 40～49 歳

男女はどうしても差があるので、平等にはなれないかもしれないですが、できるだけわかりあえるようにすれはうまくいくのではないかなと思います。夫婦でもそうですが、言い過ぎるとケンカになる。我慢すれとしんどくなるそうやって亀裂が生じるのだと思います。何をすれはうまくいくか、一生の課題になりそうですね。

●男性 20～29 歳

しきたり、習慣と言った考え方に捉われない柔軟な発想、思考、対応
自分のやりたいことができる環境づくり

「男だから～」 「女だから～」 といった誓約に捉われないこと、

かといって男だから女だから優遇しろと言うのもおかしい話、

「適材適所」といったふるいのかけ方を男女というフィルターでかけるのではなく個人の能力面、人柄を見て判断できる社会になればよいと考える。

●女性 60～69 歳

夫婦であればお互いに仕事や生活に対して相互が理解しあうことだと思います。

私たちの時代は男性優位のようなこともありましたが現在は女性の力も強くなりました。

女性にしか出来ない仕事役割もあります。

男女の良いところを認め合い社会の中の一員として参加していただきたいと思います。

とはいってもやはり大和なでしこの部分は残しておいて欲しい。

夫を立てるということは大切なことではないかな??

少し古い考えですか??

●男性 50～59 歳

世の中が良くなりますように。

●男性 40～49 歳

子育て期間に女性へのケアの充実、その後の職場への復帰までの道筋が大事かと思います。

ただ女性を登用することを大事にするのではなく個々の能力を見極めた上で平等に登用することが大切かと思います。

●女性 30～39 歳

もともと県外在住で内子町へ来てびっくりしたこと

- ・地域に「女性部」がある。
- ・女性と男性でアルバイト代が違う。
- ・男性のみが参加できるあつまりがあり、年に一度旅行へ行くなどと、上記の事を知り、男女平等の地域ではない町だなと思いました。

明らかな差がある制度をなくすことから「共同」社会への第1歩であり、「男女共同」というキーワードが出る限り、どこかで差があるのだと思います。

(人権問題含む。内子町で初めて「人権問題」という言葉を聞きました。

●男性 70～79 歳

女性の積極的な参加を促す。

●男性 60～69 歳

生後すぐの子を保育施設にあずけて仕事に出るといのはいかがなものかと思う。それほどに低い収入しか得られないというのが問題なのか。仕事がしたいのか。大きくなってからその影響が、行動や性格に現れている子が多い。

●女性 70～79 歳

男女共同参画の大切さが見直されるようになって、とてもうれしく思います。

長い間、男性優位の時代が続き、女性は絶えて頑張ってきました。我家も亭主関白で、家事、育児はあまり協力してくれませんでした。もっと男女共同参画の理解を深める啓発が必要です。男らしさ女らしさはなくさない方がいいと思います。得意分野を活かし、協力すればいいと思います。

色々な分野で女性に活躍してほしいと思いますが、人材不足があるかもしれません。もっと学べる場があったらいいと思います。若い人達は、学力も知識も豊富で素晴らしいです。

社会進出してもらうためには、子育てしやすい環境が必要です。

たとえば病気の子供を預かってもらえる施設とか、安心して子育てできることが大切です。

住みやすい町を作るために私達高齢者も出来ることで協力出来たらいいと思います。

●女性 70～79 歳

- ・賃金の格差を出来るだけ少なくする。
- ・男女が共に輝ける社会になるには、休日を大人と子供も一緒に休めるように。

●女性 60～69 歳

・男女問わず色々な公共活動に参加して、積極的に自分の考えを伝える事が、出来るようになる(私自身の事)

●男性 50～59 歳

男性と女性は根本的に違うものであるため、その良さをお互いに理解し、尊重して、適材適所的な社会貢献する。一律に何事も考えないことも大事。人は一人一人違うのですから、法で縛ったりノルマにしたりしてはだめだと思います。

家事、育児の大切さ（楽しさ）を認識してほしいです。

●女性 20～29 歳

男女関係なく、就きたいと思う仕事に就くことができるような制度や雰囲気づくり。

●女性 50～59 歳

少子化が進んでいる日本で、女の子らしさ男の子らしくと育てるのでなく、人として心豊かに成長できるように小さいころから育てる親、家族、地域が関わっていけばいいと思います。

個人々を尊重するあまりにかもしれません人がしている悪い事にも注意ができる人も少なくなり、又、注意しても反対に逆ギレされる・・・

コミュニケーション能力に乏しい人が多く感じられます。男女と考えるのも大切ですが、人として・・・を考えていきたいと私は思います。

●女性 50～59 歳

身近なところから始めては

●男性 20～29 歳

その人個人の考えによるので、「社会はこうあるべき」「男女はこうあるべき」というのは結局依然と同じこと

慣習として女性が差別され、受け入れてきたのであれば、自主性、独立性の啓発も必要ではないか。

制度として男女どちらかを優遇するのはバカバカしいのでは。